

平成 24 年度 環境にやさしい買い物キャンペーン 実施報告書



平成 25 年 3 月

環境省・経済産業省・3R活動推進フォーラム

～ごみゼロ・循環型社会めざして～



平成 24 年度
マイバッグキャンペーンポスター（福岡県）



リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可
本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。

この製品は、古紙パルプ配合率 70%の再生紙を使用しています。このマークは、3 R活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています

平成 24 年度
環境にやさしい買い物キャンペーン
実施報告書

平成 25 年 3 月

環境省・経済産業省・3R活動推進フォーラム

～ごみゼロ・循環型社会めざして～

はじめに

現在、我が国においては、循環型社会形成推進基本法に基づき、第2次循環型社会形成推進基本計画（以下「循環基本計画」という。）が平成20年3月に閣議決定され、その計画に基づく着実な実行が進められています。

循環基本計画では、取組目標として、平成27年度までに、廃棄物の減量化や循環利用等の意識を持つ国民を約90%とし、具体的に行動する国民を約50%とする目標が掲げられているところです。

平成24年3月に閣議報告がなされた循環基本計画の進捗状況の第4回点検結果では、循環基本計画の取組指標に関する目標「循環型社会形成に向けた意識・行動の変化」について、ごみ問題への意識については、「ごみ問題に関心がある」との回答率は81.2%と高いレベルにあるものの、「使い捨て製品を買わない」、「リサイクル製品を積極的に購入している」といった具体的行動については低い回答率のものも見られ、国民の高い意識を実際の行動につなげるため、消費の実態をより一層把握した上での行動につながる情報発信も引き続き重要とされたところです。

これらを踏まえ、消費者、事業者（主として流通業）、行政、消費者団体、NPO等の連携による地域活動を推進し、国民に環境に配慮した消費行動を促すことにより、地域レベルでの循環型社会の形成を図るため、本年も引き続き環境省、経済産業省及び3R活動推進フォーラムが共同で、全国自治体及び流通事業者に参加を呼びかけました。その結果、自治体で46都道府県、流通事業者等は64社、50,549店舗において参加いただきました。この度、実施された取組状況についてのご報告をいただきましたので、『平成24年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」実施報告書』としてとりまとめました。今後の活動の参考として、ご活用いただければ幸いです。

最後に、ご協力いただいた都道府県、流通事業者等のご担当者様に厚く感謝申し上げます。

平成25年3月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室
経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課
3R活動推進フォーラム
～ごみゼロ・循環型社会めざして～

目 次

第1部	「環境にやさしい買い物キャンペーン」実施概要一覧……………	1
第2部	都道府県別実施報告 ……………	7
第3部	流通事業者等実施報告 ……………	86
第4部	資料編 ……………	106

第 1 部

平成 24 年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」 実施概要一覧

都道府県別実施概要一覧

都道府県	キャンペーン名称	担当部課名	連絡先
北海道	3 R 推進キャンペーン	環境生活部環境局循環型社会推進課	011-204-5197
青 森	マイバッグキャンペーン	環境生活部 環境政策課	017-734-9249
岩 手	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境生活部 資源循環推進課	019-629-5380
宮 城	3 R 推進活動	環境生活部 資源循環推進課	022-211-2649
秋 田	レジ袋削減・マイバッグ推進運動	生活環境部 温暖化対策課 調整・省エネルギー班	018-860-1573
山 形	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境エネルギー部循環型社会推進課	023-630-2302
福 島	マイバッグ推進デーキャンペーン	生活環境部 環境共生課	024-521-7248
茨 城	平成24年度レジ袋削減運動	生活環境部 廃棄物対策課	029-301-3020
栃 木	マイ・バッグ・キャンペーン	環境森林部 地球温暖化対策課	028-623-3187
群 馬	ストップ温暖化！県民アクション	環境森林部 環境政策課	027-226-2821
埼 玉	マイボトル利用促進運動	環境部 資源循環推進課 一般廃棄物・リサイクル担当	048-830-3110
千 葉	環境にやさしい買い物キャンペーン ～ちばエコスタイル～	環境生活部 資源循環推進課	043-223-2760
東 京	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境局廃棄物対策部 資源循環推進課	03-5388-3577
神奈川	レジ袋削減マイバッグキャンペーン (持っていますエコの心とマイバッグ)	環境農政局環境保全部資源循環課	045-210-4151
新 潟	平成24年度3 R キャンペーン	県民生活・環境部 消費者行政課	025-280-5135
富 山	環境にやさしい買い物キャンペーン	生活環境文化部 県民生活課	076-444-3129
石 川	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境部 地球温暖化対策室	076-225-1462

福 井	環境にやさしい買い物キャンペーン	安全環境部 循環社会推進課	0776-20-0317
山 梨	環境にやさしい買い物キャンペーン	森林環境部 環境創造課	055-223-1506
長 野	平成24年度 環境にやさしい買い物キャンペーン	環境部 環境政策課	026-235-7169
岐 阜	東海三県一市 グリーン購入キャンペーン	環境生活部 廃棄物対策課	058-272-8214
静 岡	環境にやさしい買い物キャンペーン	くらし・環境部 環境局廃棄物リサイクル課	054-221-2426
愛 知	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境部 環境活動推進課	052-954-6241
滋 賀	レジ袋無料配布中止に係る キャンペーン	琵琶湖環境部 循環社会推進課	077-528-3472
京 都	環境にやさしい買い物キャンペーン	文化環境部 循環型社会推進課	075-414-4719
大 阪	環境にやさしい買い物キャンペーン 及びNO!! レジ袋デー	環境農林水産部 みどり・都市環境室 地球環境課	06-6210-9549
兵 庫	「地球環境時代！新しいライフスタイル展開キャンペーン」	農政環境部 環境創造局 環境政策課	078-362-3156 (内線 3358)
奈 良	マイバッグキャンペーン	くらし創造部 景観・環境局環境政策課	0742-27-8732
和歌山	平成24年度 環境にやさしい買い物キャンペーン	環境生活部 環境政策局 環境生活総務課	073-441-2690
鳥 取	平成24年度 環境にやさしい買い物キャンペーン	生活環境部 環境立県推進課 グリーンニューディール推進室	0857-26-7879
島 根	しまねレジ袋削減キャンペーン	環境生活部 環境政策課	0852-22-6237
岡 山	環境にやさしい買い物キャンペーン (岡山県統一ノーレジ袋デー)	生活環境部 循環型社会推進課 資源循環推進班	086-226-7306
広 島	「ひろしま環境の日」行動宣言 (エコな買い物)の募集	環境県民局 環境部 環境政策課	082-513-2952
山 口	やまぐちいきいきエコフェア	環境生活部廃棄物・リサイクル対策課 ゼロエミッション推進班	083-933-2992
徳 島	吉野川市 マイバッグ持参キャンペーン	県民環境部 環境総局 環境首都課	088-664-6015
香 川	買い物でエコ！キャンペーン2012	総務部 県民活動・男女共同参画課	087-832-3176
愛 媛	環境にやさしい買い物キャンペーン	県民環境部環境局循環型社会推進課	089-912-2356

都道府県	キャンペーン名称	担当部課名	連絡先
高 知	男も（女も）持つぞ！ マイバッグキャンペーン 2012	新エネルギー推進課	088-821-4841
福 岡	マイバッグキャンペーン	環境部 循環型社会推進課	092-643-3371
佐 賀	佐賀県マイバッグキャンペーン	くらし環境本部 地球温暖化対策課	0952-25-7474
長 崎	ながさきマイバッグキャンペーン	環境部 未来環境推進課	095-895-2511
熊 本	熊本県マイバッグキャンペーン	環境生活部 環境局廃棄物対策課	096-333 - 2277
大 分	マイバッグを持ってお買い物に 行こう♪キャンペーン	生活環境部 地球環境対策課	097-506-3124
宮 崎	みやざきマイバッグキャンペーン	環境森林部 循環社会推進課	0985-26-7081
鹿児島	鹿児島県マイバッグキャンペーン	環境林務部 廃棄物・リサイクル対策課	099-286-2594
沖 縄	環境にやさしい買い物キャンペーン	環境生活部 環境整備課	098 - 866 - 2231

流通事業者等実施概要一覧

事業者名	キャンペーン名称	担当部署	連絡先
イズミヤ株式会社	イズミヤエコ月間	総務 統括部エコロジー推進部	06-6657-3455
株式会社いなげや	環境にやさしい お買い物をしましょう	社長室 環境担当	042-537-5031
株式会社エコス	環境にやさしい買い物キャンペーン	秘書室長(環境責任者)	042-546-3711
株式会社カスミ	環境にやさしい買い物キャンペーン	業務企画本部 環境社会貢献部	029-850-1824
株式会社川徳	環境にやさしい買い物キャンペーン (3R推進キャンペーン)	C S R室経営品質・ I S O推進担当	019-651-1111
株式会社近鉄百貨店	環境にやさしい買い物キャンペーン	総務本部 C S R 推進部	06-6634-7532
株式会社京王百貨店	環境にやさしい買い物キャンペーン	総務部総務・ コンプライアンス担当	03-5354-2850

株式会社京成ストア	環境にやさしい買い物キャンペーン	総務部総務人事担当	03-3608-2851
株式会社佐世保玉屋	簡易包装の推進	営業推進部	0956-23-8181
株式会社そごう・西武	環境にやさしい買い物キャンペーン	C S R 推進室	03-6272-7409
株式会社タイヨー	エコポイントキャンペーン	店舗運営部お客様相談室	099-268-1215
株式会社大丸松坂屋百貨店	ペットボトル キャップ回収キャンペーン	C S R 推進室 社会活動推進担当	03-6895-0820
株式会社東急百貨店	エコポイントダブルプレゼント キャンペーン	総務部環境担当	03-3477-3208
株式会社東武宇都宮百貨店	環境にやさしい買い物キャンペーン 月間	総務部業務管理課	028-651-5880
株式会社東武百貨店	環境にやさしい買い物キャンペーン	本店総務部業務管理担当	03-5951-5181
株式会社ながの東急百貨店	環境にやさしい買い物キャンペーン	総務部総務・環境・管財	026-226-8181
一般社団法人日本フランチャ イズチェーン協会	環境にやさしい買い物キャンペーン	C S R 推進部	03-5777-8701
株式会社ベイシア	環境にやさしい買い物キャンペーン	販売部 業務システムグループ	027-897-1089
株式会社阪急阪神百貨店	環境にやさしい買い物キャンペーン	総務室総務部	06-6486-6057
株式会社藤崎	環境にやさしい買い物キャンペーン	総務担当	022-261-5111
株式会社プランタン銀座	環境にやさしい買い物キャンペーン	業務推進部管財	03-3567-7228
株式会社三越伊勢丹ホール ディングス	環境にやさしい買い物キャンペーン 月間	管理本部 業務部施設管財担当	03-5843-6037
株式会社山形屋	環境にやさしい買い物キャンペーン 月間	総務部環境対策担当	099-227-6476
ユニー株式会社	マイバッグキャンペーン	環境社会貢献部	0587-24-8093
株式会社ヨークマート	世界に1つだけのマイバッグを作ろう！ (レジ袋辞退率UP強化月間)	人事総務室総務グループ	03-6238-3648
株式会社ライフコーポレーション	環境にやさしい買い物キャンペーン	社会・環境推進部	06-6815-2569
株式会社良品計画	FUKU-FUKU プロジェクト	企画室環境広報担当	03-3989-4410

第2部 都道府県における実施報告

北海道	8	京都府	59
青森県	10	大阪府	60
岩手県	11	兵庫県	61
宮城県	13	奈良県	64
秋田県	14	和歌山県	65
山形県	16	鳥取県	67
福島県	18	島根県	69
茨城県	19	岡山県	71
栃木県	21	広島県	72
群馬県	23	山口県	73
埼玉県	25	徳島県	74
千葉県	26	香川県	76
東京都	27	愛媛県	76
神奈川県	40	愛媛県	77
新潟県	41	高知県	79
富山県	43	福岡県	82
石川県	43	佐賀県	83
福井県	46	長崎県	78
山梨県	49	熊本県	79
長野県	51	大分県	80
岐阜県	53	宮崎県	81
静岡県	55	鹿児島県	82
愛知県	57	沖縄県	83
滋賀県	58		

北海道

3R推進キャンペーン

■ 実施期間 平成24年6月～11月

■ 目的・趣旨

3Rの推進を図るため、3Rに関するイベント、パネル展示・啓発物品配布等の啓発活動を実施。

■ 実施主体 北海道等

■ 主な活動内容

- (1) エコバッグ、北海道リサイクル認定製品等の普及啓発物品の配布
- (2) 3R関連のパネル展示、啓発用ポスターの掲示
- (3) オリジナルエコバッグづくりなどのエコをテーマにした体験コーナー

■ 主な実施内容

振興局名	期間	実施内容
空知	9月～11月	・そらち（移動）エコラウンジ 環境学習講座講演会、3Rパネル展示
石狩	9/25	・北海道クリーン作戦「ポイ捨てゼロの日」＆「3R推進キャンペーン」 街頭啓発 3R推進の呼びかけ、啓発ティッシュ・エコバッグの配布
後志	6月・10月	・環境パネル展 3R環境学習セット（クイズ形式のカード）を掲示。
胆振	10/20～21	・いぶりエネルギー環境フェア リサイクル認定製品等の展示
日高	10/30	・第39回うらかわ消費生活展 廃棄物・リサイクル等に係るパネル展
渡島	10/1～5	・3R推進キャンペーンパネル展 普及啓発パネル・容器包装簡素化大賞作品の展示
檜山	9月～10月	・ひやまりサイクル工作コンクール2012 管内小学生を対象としたリサイクル工作の展示会
上川	10/20	・「エコフェスティバル」への出展 小学生以下の児童を対象としたエコバッグづくり
留萌	10/1～5	・3R推進パネル展 容器包装簡素化大賞作品・ポスター等の展示
宗谷	9/29	・「第42回くらしをみなおす消費生活展」

		3Rの取組を呼びかける啓発物品の配布
林-ツ	10/22~26	・「3R推進月間」パネル展示 リサイクル関係のパネル展示
十勝	11/11	・もっとエコなとかちづくりinとかち・市民「環境交流会」2012 子ども向けに「エコびんご」大会を開催し、親しめるゲームを通して 3R・エコなどをPR。
釧路	10/22	・自然の番人による環境行動・学習事業2012 中学生を対象とした体験学習「古新聞を利用したエコバッグ作り」
根室	9/24~10/24	・ねむろ3Rパネルリレー 根室振興局及び市町庁舎等において、3Rに関するパネル展示等 をリレー方式で開催。

■ 写真・ポスター



PRポスター



エコバッグづくり(上川)



容器包装簡素化大賞作品の展示(渡島・留萌)

【担当】環境生活部環境局循環型社会推進課 主査 三浦 誠

青森県

マイバッグキャンペーン

■目的・趣旨

県の広報誌を活用して、買い物の際にマイバッグを持参するなど環境に配慮した取組について呼びかけることにより、県民の省資源及び環境保全の意識啓発を図る。

＜ホームページアドレス＞

<http://www.pref.aomori.lg.jp/koho/dayori/files/kenmin201210P2.pdf>

■実施主体 青森県

■実施期間

平成24年10月

10月は3R推進月間です。 リサイクル率25%・ごみ排出量980gを目指して！ 一人ひとりが3Rに取り組もう！

平成22年度における青森県の1人1日当たりのごみの排出量は1,047g。全国平均の976gと比較すると71g多く、全国で44位です。また、リサイクル率は12.9%で全国平均の20.8%と比べると7.9%低く、全国で45位です。ごみが増えると、ごみ処理に人手とお金がかかるだけでなく、埋立地となる最終処分場が不足するなどの問題が生じます。今回は、家庭でできる3Rの取り組みをご紹介します。

Q. 3Rとは？

A. リデュース(ごみの発生を減らすこと)、リユース(ものを繰り返し使うこと)、リサイクル(ごみを資源として再び利用すること)のことをいいます。

ごみを減らすためには

リデュース

- 必要なものだけ購入し、無駄なく大切に使いましょう。
- 買い物袋を持参し、過剰な包装は断りましょう。
- 情報包装、詰め替え商品を選びましょう。

ごみを減らしましょう

生ごみの水切りをしましょう

- 生ごみの量は家庭ごみの量の3割程度といわれています。
- 生ごみの水分量は約80%。よって、ごみ全体の約24%が水分です。
- 水切りは腐敗・悪臭防止とごみ減量につながります。

生ごみを減量しましょう

Point1 食べる分だけつくる
Point2 水に濡らさない
Point3 乾かす

繰り返し使うためには

リユース

- 修理やリフォームを活用。
- リターナブル容器(繰り返し使える容器)を使いましょう。
- フリーマーケットやリサイクルショップを活用しましょう。

詰め替え容器を使用しましょう

- 繰り返し使用する詰め替え容器はごみ減量になる容器です。積極的に利用しましょう。

再生利用のためには

リサイクル

- 資源ごみをしっかり分別。
- 店頭回収や地域の集団回収を活用。
- リサイクル製品を購入。

紙ごみを分別しましょう

紙はリサイクルできます

- ボックスティッシュの外箱、トイレットペーパーの芯などもリサイクルできます。
- 小さい紙切れは紙袋にまとめて雑誌類と一緒に回収しましょう。

※各自治体によって分別方法が異なる場合がありますので、各自治体の情報をご確認ください。

行政による資源ごみ回収のほか、町内会等による集団回収、子ども会やPTAなどが設置している古紙リサイクルエコステーションを活用しましょう。
詳しくは、資料① 古紙リサイクルエコステーション

事業所は紙ごみを無料で回収するオフィス町内会に参加しましょう。
詳しくは、資料② オフィス町内会

10月20日(土)～21日(日) / 青森県民会館

省エネフェア

家電、住宅、エコカーなど最新の省エネ商品が一堂に展示されるほか、省エネマイスター講座、リフォームファッションショー、クイズラリーなど子どもから大人まで楽しめるイベントです。是非、ご家族でご来場ください。

詳しくは、資料③ 省エネフェア

環境政策課 017-734-9249

【担当】青森県環境生活部環境政策課 循環・環境産業グループ 遠藤克敏
電話 017-734-9249 FAX 017-734-8065

岩手県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

岩手県では、平成 23 年 4 月に「岩手県循環型社会形成推進計画（第三次岩手県廃棄物処理計画）」を策定しました。この計画では、県民、事業者、NPO、市町村、県などの各主体が、発生抑制を第一とする 3 R（リデュース：ごみの発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）に取り組むことにより、未来まで持続可能な「循環型社会いわて」を実現することを目指しています。また、この計画に基づき、今年度より「もったいない・いわて 3 R 運動」を展開しているところです。

本キャンペーンは、日々の消費行動（買い物）に着目し、マイバッグの持参促進、詰替商品の販売促進・購入、過剰包装の自粛・辞退等流通から消費までの段階において、ごみの発生を抑制するような取組を県全体で推進し、環境に配慮したライフスタイルやビジネススタイルが県民や事業者に浸透し、地域レベルでの循環型社会の形成を図ることを目的として実施します。

■ 実施主体

岩手県

■ 実施期間

平成 24 年 10 月 1 日～10 月 31 日

■ 協力団体

県のキャンペーン参加要請に御賛同いただいた事業者は次のとおりです。

株式会社川徳／株式会社ローソン東北ローソン支社／いわて生活協同組合／株式会社丸江／セブン&アイ HLDGS. 株式会社イトーヨーカ堂／協同組合江釣子ショッピングセンター／協同組合盛岡南ショッピングセンター／北上都心開発株式会社／JR 東日本リテールネット盛岡支店／イオンリテール株式会社（イオン盛岡店）／株式会社マイヤ／株式会社サークルKサンクス／株式会社薬王堂／株式会社ジョイス／株式会社スーパーマーケットマルイチ／(株)神文／(株)びはん
以上 17 事業者 411 店舗（敬称略）

■ 主な活動活用

1 県民の取組

- ・ 買い物にはマイバッグやマイバスケット等買い物袋を持参して、レジ袋の使用は辞退する。
- ・ 商品の過剰包装を辞退し、簡易包装に協力する。
- ・ 割り箸やスプーン、フォーク、ストローなど使い捨て商品の受け取りを辞退する。
- ・ 詰め替え可能な商品や再生資源利用製品など環境に配慮した商品を優先的に購入する。
- ・ 量り売りやばら売りの商品を購入する。

2 小売事業者の取組

- ・ キャンペーンポスター（リーフレット）の掲示や店内放送によりキャンペーンを周知する。
- ・ マイバッグやマイバスケット等買い物袋の持参を呼びかける。
- ・ 消費者に環境に配慮した商品がわかるような表示を行い、販売を促進する。
- ・ 簡易包装を推奨する。
- ・ 量り売りやばら売りによる販売を行う。
- ・ レジ袋、割り箸、スプーン、フォーク等の利用についてレジでの声掛けにより確認する。

3 市町村の取組

- ・ 地域住民に対し広報媒体を通じてキャンペーンの周知を図る。
- ・ 市町村内の小売事業者に対し協力を呼びかける。
- ・ 関係各所にキャンペーンポスター（リーフレット）を掲示する。

4 県の取組

- ・ 県民に対し各種広報媒体を通じてキャンペーンの周知を図る。
- ・ 県内の小売事業者に対し、キャンペーンへの協力を依頼し、取りまとめを行う。
- ・ 職員は率先して環境配慮行動に取り組む。

■ 具体的な活動内容

1 県の取組

- ・ キャンペーンポスターを作成し、関係機関等に配布した。
- ・ キャンペーンポップや放送原稿を作成し、参加事業者に提供した。
- ・ テレビ、メルマガ、広告塔など各種広報媒体により周知を図った。
- ・ 「もったいない・いわて3R推進バンドブック」を作成して配布した。

2 市町村の取組

市町村名	取組内容
盛岡市	・ キャンペーンポスターを掲示した。
宮古市	・ キャンペーンポスターの掲示した。 ・ 広報誌（10/1号）に掲載して周知した。
大船渡市	・ キャンペーンポスターの掲示した。
花巻市	・ 10/8開催のフリーマーケットの会場内において、マイバッグの配布とポスターの掲示を行った。
北上市	・ 10/25に、小売事業者と協力し店舗等において普及啓発活動を行った。 ・ マイバツ持参のチラシシールを添付した北上市指定燃えるごみ袋計1260枚を配布した。
久慈市	・ 市内エコショップ認定店に対し、キャンペーンへの協力を呼びかけた。
遠野市	・ ケーブルテレビでキャンペーンについて周知を図った。
一関市	・ キャンペーンポスターを掲示した。 ・ 「一関市住宅祭（10/20～10/21）」に環境ブースを出展し、意識啓発を行った。 ・ 協賛5店舗の店頭において、マイバッグをチラシを配布した。 ・ 10/12にエコライフ教室を開催し、風呂敷ワークショップを開催した。
八幡平市	・ キャンペーンポスターを掲示した。 ・ マイバッグ啓発チラシを全戸配布した。
雫石町	・ キャンペーンポスターを掲示した。 ・ 「2012しずくしい産業まつり」において、環境展ブースを設置し、風呂敷の包み方を照会した。 ・ 広報誌に掲載して周知した。
葛巻町	・ 葛巻テレビ（自主放送）において、ごみの分別方法、ごみの減量化、マイバッグ使用等の内容で、町独自に番組制作したものを放映。（放映期間9/15～10/30）
紫波町	・ 広報誌やホームページにキャンペーンについて掲載した。 ・ キャンペーンポスターを掲示した。
住田町	・ 広報すみた9月号に掲載した。 ・ キャンペーンポスターを掲示した。
大槌町	・ キャンペーンポスターを掲示した。
岩泉町	・ キャンペーンポスターを掲示した。
普代村	・ キャンペーンポスターを掲示した。 ・ 小売事業者と協力して店舗等において普及啓発活動を実施した。
洋野町	・ キャンペーンポスターを掲示した。

【担当】 岩手県環境生活部 資源循環推進課 資源循環担当 電話 019-629-5380

宮城県

- 3 R 推進活動 -

■ 目的・趣旨

宮城県で毎年実施していたマイバッグキャンペーンは今年度実施しなかったが、マイバッグ使用推進を含んだ3 R 推進を図る活動を実施した。

■ 実施主体 宮城県

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日～10 月 31 日

■ 主な活動内容

(1) ラジオCMによる広報

- ① 時期 10月1日から10月31日
- ② 内容

マイバッグの持参やごみの分別の呼びかけ、リサイクル製品であるグリーン製品の広報を行うラジオCMを作成し、AM・FMにて放送した。また庁舎内ロビー等でも放送したほか、課ホームページでも視聴可能としていた。

(2) 県庁内放送

- ① 時期 10月4日、5日、10月9日から10月12日（計6日間）
- ② 内容

マイバッグの使用、3 R 推進を広報する庁内放送を実施。

(3) 県庁ロビーでの3 R パネル展示

- ① 時期 9月28日から10月12日
- ② 内容 県庁2階ロビーに3 Rに関するパネルを展示。

(4) 新聞による広報

- ① 時期 10月7日
- ② 内容 県内に配送される新聞各紙に、3 R 推進を広報する記事を掲載。

■ 写真

— 県庁でのパネル展 —



【担当】 宮城県資源循環推進課企画指導班 技師 南雲隆太

秋田県

レジ袋削減・マイバッグ推進運動

■ 都道府県名 秋田県

■ 目的・趣旨

平成19年4月1日から改正容器包装リサイクル法が施行され、容器包装を年間50t以上用いる多量利用事業者に対する取組状況等の報告義務や、取組が不十分な場合の勧告・公表・命令を行う措置が導入されるなど、容器包装廃棄物の排出抑制への取組が一層強化されることとなった。

本県でも、事業者と協働してレジ袋の削減を推進し、廃棄物の減量化を通じた循環型社会の形成と地球温暖化防止対策を推進する。

■ 実施主体 秋田県

■ 実施期間 平成24年10月1日から10月31日
(レジ袋削減・マイバッグ推進運動として通年実施)

■ 協力団体

ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議、レジ袋削減・マイバッグ推進運動参加事業者

■ 主な活動内容

【事業者】

- ・推進運動に係るポスターの掲示、広告
- ・マイバッグ及びマイバスケットの販売、利用促進
- ・精算時にレジ袋要不要の確認
- ・店内放送によるマイバッグ等持参の呼びかけ
- ・マイバッグご持参のお客様にポイント付与
- ・ギフト商品やお買い上げ点数の少ないお客様の場合、簡易包装に努める
- ・消費者団体、同業者、自治体に対するレジ袋無料配布中止の呼びかけ

【行政】

- ・推進運動に係るポスターの配布
- ・関係団体等への働きかけ



(レジ袋削減・マイバッグ推進運動ポスター)

■ トピックス

①平成24年度レジ袋削減・マイバッグ推進運動

県内に店舗を持つ事業者とレジ袋の削減に向け、「レジ袋削減・マイバッグ推進運動」に係る自主協定を締結した。

協定締結事業者：21事業者467店舗（平成24年10月末時点）

②達成店ステッカーの交付

平成23年度参加事業者において、マイバッグ持参率20%以上（コンビニ事業者においては平成12年比でレジ袋使用総重量削減率20%以上）を達成した店舗へ「達成店ステッカー」を交付した。



(達成店ステッカー)

【担当】秋田県生活環境部 温暖化対策課 調整・省エネルギー班 主事 沓澤 恵
TEL 018-860-1573 FAX 018-860-3881

山形県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

山形県では、県内全域でレジ袋の有料化またはマイバッグ持参の取組みを行っており、マイバッグ持参率は約90%と県民に定着している。

今年度は、消費者に対する取組みとして「簡易包装への協力」「長寿命製品の購入」「必要十分量の購入」を重点項目とし、3R推進の啓発キャンペーンを行った。

■ **実施主体** ごみゼロやまがた推進県民会議（事務局：山形県）

■ **実施期間** 平成24年10月1日～10月31日

■ 協力団体

- ・各市町村及び各一部事務組合
- ・エコショップやまがた協力店（約150店舗）
- ・包括的連携協定締結企業（2社70店舗）

■ 主な活動内容

10月の3R推進月間期間中、協力団体の店頭等に、消費者に対し「簡易包装への協力」「長寿命製品の購入」「必要十分量の購入」を呼びかけるポスターを掲示した。

■ トピックス

- 山形県全域でマイバッグ持参の取組みを行っている。県内35市町村のうち、レジ袋有料化を実施している市町村が25市町であり、レジ袋有料化には至らないがマイバッグ持参運動に取り組む市町村が10市町村となっている。
- 「やまがた環境展2012」の併催事業として、ごみゼロやまがたの実現を目指し、3Rを中心とした環境意識の推進を目的に「ごみゼロやまがた県民大会」を開催した。大会では、家庭で簡単に取り組めるゴミ減量等のアイデアを紹介する「3R推進講演会」（講師：漫画家 赤星たみこ（3R推進マイスター））や3Rの推進に努め功績のあった団体等を表彰する「ごみゼロ推進功労者表彰」、「リユース食器レンタルシステム実演（芋煮のふるまい）」などを行った。また、「おもちゃの交換会かえっこバザール」では、多数の児童が使わなくなったおもちゃを持ち寄り、おもちゃの交換を通して身近なリユースを体験し、楽しみながら環境にやさしい取組みを実践した。その他にも様々な体験イベントを実施し、多くの来場者に3R推進のPRを行った。

「環境にやさしい買い物キャンペーン」ポスター



「ごみゼロやまがた県民大会」ポスター



「ごみゼロやまがた県民大会」写真



かえっこバザール



ごみゼロやまがた県民運動キャラクター
「ごみゼロくん」



環境科学体験コーナー
(手回し発電ミニ四駆)

【担当】 山形県環境エネルギー部循環型社会推進課 リサイクル・環境産業担当 石川
TEL 023-630-2302 FAX 023-625-7991

福島県

マイバッグ推進デーキャンペーン

■ 目的・趣旨

「循環型社会形成の推進のため

■ 実施主体 福島県

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 27 日、28 日

■ 主な活動内容

地域伝統芸能全国大会福島大会（ふるさとの祭り 2012）において、マイバッグ推進デーキャンペーンを実施した。

- ・啓発グッズの配付
- ・アンケートの実施等

■ トピックス的な事例

福島県地球環境保全のキャラクター「エコたん」がご当地キャラパレードに参加し、マイバッグの推進を呼びかけた。



【担当】 福島県生活環境部環境共生課 笠原香峰子

TEL 024-521-7248 024-521-7813 FAX 024-521-7928

茨城県

平成 24 年度レジ袋削減運動

■ **キャンペーン名称** 平成 24 年度レジ袋削減運動

■ **目 的**

日常の生活の中でできる環境にやさしい行動の一つとして、買い物袋（マイバッグ）の持参による不要なレジ袋の削減があげられるが、マイバッグ持参の定着のためには、販売店、消費者、行政など地域社会全体が一体となって取り組む必要がある。

本県においては、食品スーパー・クリーニング店、環境団体等の 4 県域団体、茨城県が締結した協定に基づき「レジ袋無料配布中止」に取り組んでいるところであるが、この取組を一層定着させるため、レジ袋削減運動を展開する。

■ **主 催** 茨城県

■ **実施期間** 通年

■ **参加団体**

県内市町村	44 団体
環境保全茨城県民会議に所属する企業・団体等	99 団体
県域団体	4 団体

※環境保全茨城県民会議、大好きいばらき県民会議
県消費者団体連絡会、県生活学校連絡会

■ **参加企業** スーパーマーケット 27 社 272 店舗
クリーニング店 15 社 301 店舗

※参加企業は、本県及び県域 4 団体と「レジ袋無料配布中止についての協定」を締結している。

スーパーマーケットとは平成 21 年 3 月 27 日に、クリーン店とは平成 22 年 9 月 1 日に協定を締結した。

■ **主な活動内容**

啓発物品（ポケットティッシュ）を作成し、市町村や参加団体等に配布し下記の取り組みに活用した。

(1) 各店舗での取り組み

啓発物品の配布、チラシの配布、レジでの声かけの実施等。

(2) イベント等でのキャンペーンの実施

県、市町村、県域団体等が主体となって、各地のイベントに参加し、レジ袋の削減を呼びかける。

■ 県・市町村による各種イベントにおける啓発活動（主なもの）

イベント名	開催場所	実施日
かすみがうら祭	かすみがうら市	11月3日
リサイクルフェア	坂東市	11月23日
八千代町秋まつり	八千代町	11月23日・24日
いばらきエコライフ・フォーラム	水戸市	12月1日
ごみ減量及び地球温暖化防止キャンペーン	常陸大宮市	11月30日
冬の省エネ街頭キャンペーン	結城市	12月8日

■ イベント会場でのキャンペーン



■ 啓発物品（ポケットティッシュ）

環境にやさしい買い物キャンペーン



こまめに買い物袋を持ち歩きましょう。
茨城県・環境保全茨城県民会議

【担当】茨城県生活環境部廃棄物対策課 企画調整グループ 占部

TEL 029-301-3020 FAX 029-301-3039

栃木県

マイ・バッグ・キャンペーン

■ 目的・趣旨

「マイ・バッグの持参」など、身近な生活の中でできる具体的な行動として「環境にやさしい買い物」を実践することにより、ごみの減量化をはじめとした環境問題に関する県民の意識の高揚を図るとともに、環境への負荷の低減に資することを目的とする。

■ 実施主体 栃木県

■ 実施期間 通年（※強化期間：平成24年10月1日～10月31日）

■ 協力団体

県内全域で取組を推進するため、以下の団体等から協力を得た。

◆消費者団体等

栃木県地域婦人連絡協議会、栃木県生活学校連絡協議会、栃木県市町村消費者団体連絡協議会、日本労働組合総連合会栃木県連合会、エコライフネットワーク「とちぎ」、とちの環県民会議

◆事業者

栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、栃木県経済同友会、栃木県生活協同組合連合会、栃木県職員生活協同組合、スーパーマーケット等

◆行政

市町、一部事務組合、県関係機関

■ 主な活動内容

1 栃木県

①具体的行動実践の呼びかけ

「環境にやさしい買い物をしましょう」をサブテーマに、ポスター及びちらしを作成し、消費者団体、事業者、行政機関、県民に具体的行動の実践を呼びかけた。

○ポスター 2,800枚、ちらし 5,000枚 作成

②県職員への呼びかけ

本県では、「栃木県庁環境保全率先実行計画」に基づき、職員一人ひとりが廃棄物の減量化を推進するため率先的な行動を実践していることから、県職員に対しても庁内メールやポスター掲示等によりマイバッグの持参等を呼びかけた。

③各種媒体による広報

県ホームページ、広報媒体等による普及啓発

④「とちぎレジ袋減らし隊」によるレジ袋削減キャンペーンの実施

県内各地でレジ袋削減を呼びかけるキャンペーン隊「とちぎレジ袋減らし隊」を昨年引き続き結成し、店頭でマイバッグ持参を呼びかけるキャンペーンを実施

- 2 消費者団体等
 - 県内イベントに参加し、レジ袋削減アンケート、マイバッグ作り等のマイ・バッグ・キャンペーンを実施。
- 3 事業者
 - ポスターを掲示し、レジでの声かけ（「袋は必要ですか？」等）を実施
 - 購入点数が1、2点の際には、買上げテープでよいか確認し、買上げテープを貼付
 - 定期的にマイバッグ・買い物袋持参の協力を店内放送にて実施
 - マイバッグ使用のポイントプレゼントキャンペーン
 - 店頭においてマイバッグを配布するマイ・バッグ・キャンペーンの実施
- 4 商工団体
 - ポスターの掲示、キャンペーンチラシの配布
 - オリジナルポスターの作成、配布
- 5 行政（県内市町、一部事務組合）
 - 公共施設へのポスター・ちらしの掲示による普及啓発
 - 広報誌・ホームページによる普及啓発
 - マイバッグコンテスト、ポスターコンクールの実施
 - 市町主催イベントで「とちぎレジ袋減らし隊」を活用した、レジ袋削減キャンペーン実施
 - 管内店舗と協力し、普及啓発資材を配布
 - 啓発用チラシを作成し、自治会内における回覧を実施
 - 保健環境委員を通じての全戸回覧によるマイバッグ斡旋
 - 抽選ですてきな賞品が当たる「マイバッグキャンペーン」を市町独自で実施
 - 管内店頭において消費者団体と協力してティッシュ等の普及啓発資材を配布

■ トピックス

- 1 イベントへの出展と普及啓発活動の実施

特に10月は強化月間として、「エコもりフェア2012」（10/6～7）に出展し、アンケートや普及啓発活動（マイバッグを配布）を実施

 - 開催場所：わくわくグランディ科学ランド
 - 実施内容：ポスター、パネル展示、エコイズの掲示、チラシの配布
アンケート回答者にマイバッグをプレゼント、
こどもを対象としたマイバッグデザイン会の実施
(マイバッグにお絵かきをしてもらい、そのバッグをこどもにプレゼントする)
- 2 市町独自のマイ・バッグ・キャンペーンの実施

栃木県那珂川町において、10月1日から11月30日までの期間中に町内のレジ袋削減協力店で買い物をし、スタンプを集めて応募した人の中から抽選で賞品があたる独自のキャンペーンを実施

【担当】 栃木県環境森林部地球温暖化対策課 環境学習・保全活動担当 主任 出井敬規
TEL 028-623-3262 FAX 028-623-3259

群馬県

ストップ温暖化！県民アクション

■ 目的・趣旨

地球温暖化防止には、社会全体及びひとり一人の理解と行動力が不可欠です。地球温暖化のしくみや現状についての理解は一般県民にもかなり浸透してきたところであり、今後は「知っている」から「している」へと行動に変えていく必要があります。

特に、CO₂増加傾向が続いている家庭部門での取組として、日常生活における地球温暖化防止につながる具体的な行動を、県民にわかりやすく伝えていくことを目的とし、環境にやさしい買い物（3R、地産地消）を呼びかけています。

■ 実施主体 群馬県

■ 実施期間 平成24年8月10日～平成25年2月28日

■ 協力団体

群馬県地球温暖化防止活動推進センター、市町村、県内各団体・事業者等

■ 主な活動内容

(1) 取組概要

暮らしの中でできる、地球温暖化防止につながる代表的な取り組み（3R、地産地消等）をまとめたリーフレットを作成・配布します。具体的な行動により削減できたCO₂量を、成果として実感してもらい、さらなるCO₂削減へつなげようとする取り組みです。

[取り組みの手順]

- ① 日常の場面で、具体的にどんな行動をすればよいかを、リーフレットで認識します。
- ② まずは短期間（3日間）、それらを意識して実際に行動し、自分にできることを実感します。
- ③ 3日間の取組結果を報告することで、日々の暮らしを振り返り、環境にやさしいライフスタイルの実現を目指します。



ストップ温暖化！県民アクション
リーフレット（表紙・裏表紙）



ストップ温暖化！県民アクション
リーフレット（具体的な取組例）

◇具体的な取り組み例の紹介

【3Rに取り組みましょう】



【地産地消の商品を選択しましょう】



(2) 啓発活動

- ・リーフレットの作成及び配布
- ・県広報番組（テレビ・ラジオ）、県広報誌及び県ホームページでの広報
- ・イベント等での普及啓発
- ・県内各団体、市町村窓口、協力事業者等での周知、及びリーフレットの配布

■ トピックス

平成24年11月3日に開催されたぐんま環境フェスティバルにおいて、リーフレットの配布と取組の募集を行いました。

多数の県民の皆様にご理解をいただき、リーフレットに取り組んでいただきました。



【担当】群馬県環境森林部環境政策課温暖化対策室 環境活動推進係 松原 寛人

埼玉県

マイバッグ・マイボトル利用促進運動

■ 目的・趣旨

地球に優しい身近な取組みとして、マイバッグ・マイボトルの利用によるレジ袋削減や飲料容器に由来するごみの排出量削減を推進し、循環型社会の構築と地球温暖化防止を図る。

■ 実施主体 埼玉県

■ 実施期間 通年

■ 対象地域 埼玉県内

■ 主な活動内容

(1) 広報による啓発

○ 3R推進月間（10月）を中心に、県ホームページ、市町村広報紙での啓発

○ 協力事業者店舗や各イベントでのポスターや旗の掲示

(2) イベントにおける啓発

様々なイベント会場等に出展し、来場者にマイバッグやマイボトルの利用を呼びかけた。

(例) ・埼玉サイクリングフェスティバル（10月14日）

・日本スリーデーマーチ（11月2日）

・埼玉県民の日 県庁オープンデー（11月14日）

■ その他：イベントでの啓発活動の様子、啓発物品等

○ 埼玉サイクリングフェスティバル（10月14日）



イベント会場にブースを出展し、参加者や来場者にパネル展示、アンケートを通じて3Rの啓発を実施。

600名を越える方々に啓発活動を行った。啓発物品として「反射シール」（右参照）などを配布した。



埼玉県のマスコット「コパトン」を使用したマイバッグ・マイボトル普及啓発物品「反射シール」を各イベントにおいて配布している。

【担当】 埼玉県環境部資源循環推進課 一般廃棄物・リサイクル担当 佐々木 一樹

千葉県

環境にやさしい買い物キャンペーン ～ちばエコスタイル～

■ 目的・趣旨

10月の3R推進月間の一連の活動として、「環境にやさしい買い物キャンペーン」と連携して、県で作成したポスター・チラシを関係団体等へ配布・周知することで「環境にやさしい買い物キャンペーン～ちばエコスタイル～」を実施することにより、本県の資源循環型社会づくりの促進を図る

■ 実施期間

平成24年10月1日から

平成24年10月31日

■ 実施主体 千葉県

■ 協力団体

(社)千葉県商工会議所連合会、
千葉県商工会連合会、千葉県商店街連合会、各生活協同組合(18団体)、
各消費者団体(30団体)、各市町村
廃棄物・リサイクル担当課等

■ 主な活動内容

・「ちばエコスタイル」の周知
ごみを減らすために、身の回りのできることを実践するライフスタイルを「ちばエコスタイル」として推奨し、循環型社会づくりを推進。

特に、誰もが身近に取り組める実践的な3Rとして、全県的なレジ袋削減の取組みである「ちばレジ袋削減エコスタイル(通称:

ちばレジエコ)」

「ちば食べきりエコスタイル(通称:ちば食べエコ)」の普及啓発を実施。

・「ちばレジエコ」、「ちば食べエコ」及び「3R推進月間」のリーフレット、チラシ、ポスターを関係団体、市町村、大学等に配布したほか、市町村主催イベント等で「ちばエコスタイル」として、レジ袋や食べ残し削減の取組等について周知。



【担当】千葉県環境生活部資源循環推進課 事業推進室 石神 奈加子

電話 043-223-2760 E-mail e-haiki@mz.pref.chiba.lg.jp

東京都

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

容器包装や生ごみ・食品ロスなどの都民に身近な題材を通して、ごみ減量やリサイクルへの取組に関する情報を都民に提供することにより、都民の環境意識の向上を図ることを目的とした。

消費者団体、市民団体などがパネル展示や実験、配布物などを通して、暮らしに関する情報を様々に発信する「2012年度交流フェスタ」に東京都環境局が参加し、都民の環境意識の醸成を図った。

■ **実施主体** 東京都環境局（東京都及び消費者団体で構成）

■ **実施期間** 平成24年10月12日(金)～10月13日(土)

■ **協力団体** 東京都消費者月間実行委員会（東京都及び消費者団体で構成）

■ 主な活動内容

東京都では、10月を消費者月間と定め、東京都、消費者団体、事業者が、消費者に身近な問題をテーマにしたパネル展示やセミナー等を通じて、都民に対して様々な「暮らしに関する情報」を提供し、都民の消費者意識の向上を図るため、東京都消費者月間事業「暮らしフェスタ東京」を毎年実施している。

今回、「暮らしフェスタ東京」の一環として、JR新宿駅西口広場イベントコーナーで開催された「2012年度交流フェスタ」に、東京都環境局はブースを出展し、以下の展示を行って都民に対して環境に配慮した行動を促した。

- ・ 容器包装の減量・リサイクルについてポスター掲示及び九都県市容器包装ダイエツト宣言参加企業（宮坂醸造株）の取組商品を展示・配布
- ・ 生ごみ・食品ロスの削減についてポスター掲示及びフードバンクに取り組むNPOのパンフレツト配布
- ・ 小型家電リサイクルについて九都県市のキャンペーンポスター掲示
- ・ 意識啓発クイズ実施、マイバック等の配布によりレジ袋削減（リデュース）への取組を促進

■ トピックス

- ・ 2012年度の交流フェスタについて

都ブース来客者数 約280人（二日間の延べ人数）、全体では54ブース出展



東京都環境局ブースの様子



容器包装の軽減等に関する展示

【担当】東京都 環境局 廃棄物対策部 資源循環推進課資源循環推進係 中村幸子

新宿区

3 R 推進キャンペーンイベント

『～新宿発エコなくらし～新宿3 R ぐるぐる大作戦！！』

■ 目的・趣旨

環境に配慮した自社製品（再生品、詰替商品、食品リサイクルの堆肥を利用した作物等）や、環境配慮に向けた事業者や区民団体の取組み紹介、環境配慮型買物行動（マイバッグ、マイボトルの使用等）の奨励を、商品販売や体験コーナー、講座等をからめて楽しく実施し、来場者に3 R への理解を深めてもらう。

■ 実施主体 新宿区3 R 推進協議会・新宿区

■ 実施期間 平成24年9月16日（日）10時45分～16時

■ 協力団体 四谷清掃協力会・牛込清掃協力会・新宿西清掃協力会・新宿区消費者団体連絡会・新宿区エコライフ推進協議会・NPO 法人新宿環境活動ネット・新宿区のリサイクルを考える会・新宿環境リサイクル活動の会・早稲田大学環境総合研究センター・新宿区商店会連合会・コープとうきょう・(株)マルエツ・(株)三越伊勢丹・(株)京王百貨店・花王株式会社・ファッションビジネス学会・群馬県沼田市・環境省・丸山園本店・西早稲田リサイクル活動センター・ガラスびんリサイクル促進協議会・布礼あいの会・新宿区婦人団体協議会・新宿区生鮮三品特販組合・(株)アブアブ赤札堂・(株)いなげや・(株)京王ストア・(株)三徳・(株)ピーコックストア・丸正チェーン商事株式会社・(株)小田急百貨店・(株)ファミリーマート（日本フランチャイズチェーン協会）・(株)高島屋新宿店・(株)丸井新宿マルイ本館・(株)ルミネ新宿店

■ 主な活動内容

新宿3 R 落語（出演：桂小文治師匠）・3 R ぐるぐるトークショー（出演：木原実氏（気象予報士））・リクチュールファッションショー・環境にやさしい野菜の販売・風呂敷の包み方講座・クイズラリー・マイバッグキャンペーン等

当日の様子



【担当】新宿区環境清掃部生活環境課ごみ減量計画係 荻和野（かりわの）

豊島区

3R推進キャンペーン

■ 目的・趣旨

区民への3R意識の啓発を促進して、ごみ減量・資源循環活動の推進を図る。

■ 実施主体 豊島区

■ 実施期間 平成24年10月1日～平成24年10月12日

■ 主な活動内容

(1) 区役所本庁舎ロビー展示（3R推進キャンペーン）

① マイバッグコンテスト

区民から公募したマイバッグの展示・投票

② 3R推進パネル展示

区内企業の環境への配慮及び3Rへの広範囲な取組をパネルで紹介。マイバッグ・ごみ減量の取組など。

③ 身近にできる3Rの紹介など

(2) 地域キャンペーン（10月1日～31日）

① 商店会の協力を得て、期間中レジ袋削減の呼びかけ。

地域まつり（10月7日）に開催された地域まつり「池袋本町ふれあい祭り」会場に展示啓発コーナーを設けて、区民に3R・レジ袋削減・マイバッグ持参ごみ減量を呼びかける。3R啓発ミニ講座開催。リーフレット等の配布。



池袋本町ふれあい祭りでの3R啓発ミニ講座開催ブース



区役所本庁舎ロビー展示（3R推進キャンペーン）

【担当】豊島区清掃環境部資源循環課 リサイクル推進係 小杉

荒川区

地域こどもまつり（区内 5 地区で実施）

■ 目的・趣旨

地域の子どもや大人たちが年齢や地域の違いをこえて集い、創作活動やゲーム遊びなど様々な催しを通して世代間の交流を深める場において、ごみ減量・3R 推進に向けたライフスタイルの転換を促す。

■ 実施主体 環境清掃部清掃リサイクル課・荒川清掃事務所

■ 実施期間 平成24年10月21日～平成24年11月23日 （地域こどもまつり実施の5日間）

■ 主な活動内容

子どもから大人まで楽しみながら学んでもらうため、「リサイクルクイズ」「正しいごみの分け方・出し方」「清掃スケルトン車への積み込み体験」等を実施し、3R 推進に向けた普及啓発を図った。ブースには「環境にやさしい買い物キャンペーン」の啓発ポスターを掲示し「ごみを減らそう・今日からはじめよう 3R」の呼び掛けを実施した。



【担当】 荒川区環境清掃部清掃リサイクル課 計画係 鈴木 電話 5692-6690

江戸川区

江戸川区マイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

買い物の際にマイバッグを利用し、レジ袋をもらわない習慣を定着させることで、レジ袋の削減を契機とした、リデュースの行動を促進する。

■ 実施主体 東京都江戸川区

■ 実施期間 平成24年10月1日(月)～平成24年10月31日(水)

■ 協力団体 区内マイバッグキャンペーン協力店 101 店舗
江戸川区商店街連合会
区内各町会・自治会

■ 主な活動内容

【内容】キャンペーン協力店で買い物する時、レジ袋を辞退し、レジ袋を辞退したことがわかるレシートもしくは応募券を5枚集めて、応募し、抽選により600名に記念品を贈る。

【周知方法】

- ・ 区広報紙、江戸川区ホームページに記事を掲載
- ・ ポスター掲出(区内広報掲示板、町会・自治会掲示板、区内マイバッグキャンペーン協力店および区内施設)
- ・ 応募用紙配布(区内マイバッグキャンペーン協力店)
- ・ 応募用紙およびチラシ配布(区内施設)
- ・ 区内町会・自治会でチラシを回覧

■ その他 キャンペーン応募数 2,053 通

【担当】江戸川区環境部清掃課ごみ減量係 君山

八王子市 平成 24 年度マイバッグ利用促進月間キャンペーン

■ 目的・趣旨

10 月を「マイバッグ利用促進月間」、また 10 月 5 日を「マイバッグの日」と制定し、市民全体が参加して不要なレジ袋を削減するきっかけとなるよう、市民・事業者と一緒にマイバッグ利用促進を呼びかける。

今年度は、10 月 7 日(日)（「マイバッグの日」直近の日曜日）を中心に活動を実施。

■ 実施主体 八王子市

■ 実施期間

平成 24 年 10 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日

■ 協力団体 福祉団体 ハーブエール

■ 主な活動内容

(1) スーパーマーケット・エコショップ認定店独自の10月の取組(実施期間は、各店舗による)

- ・ レジ袋辞退者にエコポイント・スタンプの割増 …… 8 社 23 店舗
- ・ レジ袋辞退者にオリジナルグッズをプレゼント …… 3 社 10 店舗
- ・ エコバッグ割引販売 …………… 1 社 1 店舗

(2) 市内 10 店舗の店頭での啓発活動(10 月 7 日 13:00～16:00)

市民 32 名、職員 23 名、計 55 名

- ・ マイバッグ持参率調査
- ・ アンケート調査…別紙のとおり
- ・ 啓発品(マイバッグ利用促進チラシ入りティッシュ)の配布による意識啓発

アルプス (宇津木台店・北野店)、 三和 (八王子みなみ野店・堀之内店)、
ダイエー (八王子店)、 グルメシティ (高尾店)、
京王ストア (めじろ台店)、 イトーヨーカドー (八王子店)、
コープとうきょう (高倉店)、 オザム (諏訪店)

(3) 三崎町公園にて周辺商店会と連携してキャンペーンを実施(10 月 7 日 11:00～16:00)

- ・ オリジナルマイバッグの作成
布製無地のマイバッグに専用絵の具でイラストや文字を描く体験コーナー
(先着 200 名のところ、悪天候により参加は 65 名)

- ・ リサイクルマスコット クルリによる啓発
- ・ 福祉団体「ハーブエール」によるリサイクルマイバッグの展示・販売
(悪天候により出展中止)

(4) ぐりーんうおーく多摩にて啓発活動・分別クイズ(10 月 7 日 13:00～16:00)

- ・アンケート調査
- ・啓発品(マイバッグ利用促進チラシ入りティッシュ)の配布による意識啓発
- ・分別クイズによる正しい分別周知
- ・クルリによる啓発

■ 周知及び啓発

- (1) 10月1日号広報誌「ごみゼロ通信」発行
- (2) ポスター・ポップアップの掲示(9月末～10月末)
エコショップや商店会等で掲示・・・ポスター 約1,500枚、ポップアップ 約200枚
- (3) ペナントの掲示〈商店会街路灯〉(9月末～10月末)
15商店会ほか 設置枚数・・・約800枚

八王子駅北口商店会、 三和会商店街(振)、 八王子駅前銀座通商栄会、
 パーク壺番街商店会、 八日町商店街(振)、 八幡町商店会、 京王八王子商店会、
 八王子南口商栄会、 北野商店会、 西八商栄会、 三崎町商研会、
 横三商店会、 横山町二丁目商店街振興組合、 南大沢三丁目商店街、
 めじろ台駅前ショッピングセンター、 八王子駅南口駅前広場

- (4) 横断幕の掲示(9月末～10月末)
市内5箇所

八王子駅 : 北口マルベリーブリッジ、南口とちの木デッキ
 南大沢駅 : アウトレット歩道橋、南大沢輪舞橋、
 市役所 : 本庁舎1箇所

■ その他

ポスター



ペナント



広報誌 「ごみゼロ通信」



オリジナルマイバッグ作成の様子



横断幕



【担当】八王子市部環境ごみ減量対策課 森田、佐藤

立川区

全市一斉マイバッグ運動

- **目的・趣旨** マイバッグでのお買物を推進し、レジ袋の削減。ごみの発生抑制の視点からごみ減量を呼びかける。
- **実施主体** 立川区
- **実施期間** 平成24年10月15日（月）～10月31日（水）
- **協力団体** 立川市商店街連合会・立川商工会議所
品川区商店街連合会
（区補助金でエココイン事業を実施）
- **主な活動内容**
協力店には、幟旗・ポスターを掲示してもらう。
マイバッグ持参で買い物した方に水切りネットの景品を配布してもらう。（一部店舗は景品を配布していません）



協力店（幟旗・ポスター掲示）



協力店（ポスター掲示）

【担当】立川市環境下水道部ごみ減量推進課 新井

武蔵野市 平成 24 年度マイバッグからはじまるプチエコキャンペーン

■ 目的・趣旨

大半が使い捨てになるレジ袋を削減することをきっかけに、市民自ら「不要な物はもらわない、買わない」という意識を持ち環境に配慮した行動をとるようにライフスタイルそのものが変化することで、ごみ全体の減量につなげる。

■ 実施主体 武蔵野市

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日から平成 24 年 10 月 31 日

■ 協力団体 武蔵野市ごみ減量協議会、武蔵野市消費者運動連絡会、クリーンむさしのを推進する会、武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会、吉祥寺活性化協議会、小田急バス、関東バス

■ 主な活動内容

(1) ポスター等掲示による周知啓発活動

告知ポスター（別紙 1）を関東バス、小田急バスの武蔵野市内を通る路線に掲示。

また公共施設・スーパー等に配布・掲示を依頼。

(2) 横断幕の掲示

市内 3 駅（吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅）ロータリーや駅構内にレジ袋削減啓発横断幕を設置

(3) 市内各商店街協力によるフラッグの掲示

(4) スーパー・コンビニエンスストア店頭キャンペーン

レジ袋削減についての協定を調印しているスーパー事業者の店頭において、以下のキャンペーンを実施

- ① 夜間のレジ袋辞退率が下がる時間帯に携帯マイバッグを配布
- ② 生成り素材のマイバッグにスタンプで柄をつける「オリジナルマイバッグをつくらうキャンペーン」を実施

合計参加者 1,508 名

■ 横断幕・フラッグ掲示の様子



■スーパー店頭キャンペーンの様子



【担当】武蔵野市 環境部 ごみ総合対策課 減量指導係 澁

小平市

マイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

マイバッグの利用がいかにごみ減量に役立つかをアピールする。

■ 実施主体

小平市、小平市廃棄物減量等推進員
(クリーンメイトこだいら)

■ 実施期間

平成 24 年 6 月 2 1 日

■ 協力団体

小平市廃棄物減量等推進員
(クリーンメイトこだいら)

■ 主な活動内容

市内スーパーマーケットの店頭にて、のぼり旗を立て、マイバッグ利用の呼びかけを行う。買い物を終えたお客様を対象にマイバッグ利用調査アンケートを実施。アンケートに答えていただいた方にマイバッグを配布

■ トピックス的な事例

市の生ごみの資源化事業である「食物資源循環モデル事業」のPRとして、生ごみから作ったたい肥も併せて配布した。


■ その他

事前周知ポスター


事前にキャンペーン会場のスーパーマーケットに掲示をお願いした。

【担当】小平市環境部ごみ減量対策課 工藤

マイバッグキャンペーン開催！！

日時:6月21日(木)午後3時～5時
場所:いなげや小平小川橋店店頭 

アンケートにご協力いただいた方に、オリジナルマイバッグを差し上げます。
生ごみ由来のたい肥も配布予定！
※マイバッグ・たい肥がなくなりしだい、終了とさせていただきます。



主催:クリーンメイト・小平市
お問い合わせ:ごみ減量対策課(042-346-9535)

日野市

マイバッグ持参強化月間及びマイバッグ出口調査

■ 目的・趣旨

レジ袋の削減を図るため、市内全スーパー及び市民団体と共同してレジ袋の無料配布中止を推進するとともに、マイバッグ持参の普及啓発を行う。

■ 実施主体

日野市レジ袋無料配布中止に向けた共同会議、日野市ごみ減量推進市民会議、日野市

■ 実施期間

5月及び10月

■ 協力団体

梅が丘よつばグループ、ひの市民リサイクルショップ回轉市場、日野市
明るい社会をつくる会、日野市ごみゼロプラン見直し会議、日野の自然を守る会、日野市消費者運動連絡会、谷仲山R運動、日野市商店会連合会、市内スーパー、日野市ごみ減量推進市民会議

■ 主な活動内容

5月と10月を、マイバッグ持参強化月間と位置付け、市内全スーパーにおいて、マイバッグ持参を呼びかけるのぼり旗の掲示や店内アナウンス、マイバッグ持参者に対するポイント付加などを実施してもらう。

また、同期間内に、市内全スーパーの店頭で、マイバッグ持参率の調査を日野市と市民団体が行う。

【担当】日野市ごみゼロ推進課 青木

国立市

レジ袋NOデーキャンペーン

■ 目的・趣旨 マイバッグ持参を呼びかけて、レジ袋の使用量を減少させる。

■ 実施主体 豊島区

■ 実施期間 10月中を強化月間と位置付けている。キャンペーン自体は10月5日（金）に実施。

■ 協力団体 国立市廃棄物減量等推進員、国立市消費者団体連絡会、国立市商工会、国立市ごみ減量協力店、国立市内スーパーマーケット（9店舗）

■ 主な活動内容

- ・市報に「レジ袋NOデー」キャンペーン実施を掲載。
- ・国立市内スーパーマーケット（9店舗）、国立市商工会、国立市ごみ減量協力店にポスターの掲示を依頼。
- ・自治会等へキャンペーン実施の回覧文書を送付。
- ・ごみ収集車両での音声テープによる広報及び車両前面に「レジ袋NOデーキャンペーン」マスクを設置。

■ トピックス的な事例

キャンペーン当日は天候にも恵まれたため来店客も多く、雨であった前年よりも実施効果があったと推測される。



啓発グッズのポケットティッシュには、上記ポスターを縮小したチラシを入れている。

【担当】国立市生活環境部ごみ減量課 稲木

清瀬市

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

マイバックを持参する、過剰包装を避ける、詰め替え商品を選ぶ等の行動が、ごみの減量化につながるように、日常の買い物と環境問題は密接に関係している。

このため、市では3R(リデュース・リユース・リサイクル)月間の10月にノーレジ袋・マイバック推進運動「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施し、買い物における3R行動の実践を呼びかける。

■ 実施主体 清瀬市

■ 実施期間 平成24年10月1日(月)～10月30日(金)

■ 協力団体 清瀬商工会

■ 主な活動内容

清瀬商工会の会員の方々が、市民の皆さまに対して次のような呼びかけ等を実施。

① ノーレジ袋・マイバック推進運動月間

ごみの減量対策の一環として「マイバック」を持参することにより、レジ袋や包装の抑制を図るとともに、市民の環境意識の高揚を図ることを目的とする。

② 啓発ポスターの掲示

■ その他

10月21日に行われた「きよせ市民まつり」会場内ではレジ袋を用意せずマイバックを持参するか、市の指定収集袋を販売しマイバックとして利用した。

【担当】清瀬市 環境課

武蔵村山市

マイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨 環境省では、10月をリデュース・リユース・リサイクル推進月間(略称:3R推進月間)と定めており、期間中、環境省を含む3R関係各府省、地方公共団体、関係団体で3R活動に関する様々な取り組み、行事が行われる。

当市も、この3R推進月間に「マイバッグキャンペーン」を実施し、レジ袋削減及び買い物時のマイバッグの持参に対する市民意識の啓発及び高揚を図ることを目的とする。

■ 実施主体 武蔵村山市

■ 実施期間 平成24年10月1日から10月31日まで

■ 協力団体 市内の協力店舗、公共施設

■ 主な活動内容

① 市内の協力店舗(48店舗)、公共施設(14施設)にポスター掲示の依頼をした。また、市民まつり会場にポスターの掲示を行った。

② 10月20日・21日の市民まつりにおいて、買物時のマイバッグ持参を来場者に呼び掛けるとともに、啓発用ティッシュペーパーの配布を行った。

③ マイバッグキャンペーンの目的及び実施について、事前に市報等で市民に周知した。

【担当】生活環境部環境課ごみ対策グループ 藤野 良雄

神奈川県

レジ袋削減マイバッグキャンペーン (持っています エコの心とマイバッグ)

■ 目的・趣旨

日常生活の中で誰もが簡単にできるレジ袋の削減を実践することにより、CO2 や廃棄物を削減するとともに、「環境にやさしい生活スタイル」の実現を図るため、マイバッグ持参等によるレジ袋の削減を広く県民の皆さんに呼びかける。

■ 実施主体 神奈川県

■ 実施期間 通年

■ 協力団体 神奈川県レジ袋削減実行委員会

〔 神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言 への賛同者
平成24年12月1日現在、156社・団体1,008店舗の事業者、消費者団体、企業、大学、市町 〕

■ 主な活動内容

(1) 広報啓発活動・マスコミ取材等状況

- ・ラジオ かわさき FM 「かわさき UPSTREAM」(8月)
- ・あーすぷらざ3階展示室、県新庁舎1階ロビー及び県第2分庁舎の各展示コーナーに「レジ袋削減等の3R推進」パネル展示(5月、6月、7月、10月)

(2) イベント等における啓発活動

- ・レジ袋削減の必要性などの認知度向上、マイバッグを持参する県民の増加及びレジ袋使用枚数の削減へ向け、「PRキャラバン隊(4人一組を3チーム)」を結成し、約6ヶ月間にわたり「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」に賛同された県内のスーパー等の店頭や県内各地の人通りが多い場所約700カ所で、マイバッグ持参、マイバッグを利用したお買い物マナーの呼びかけ、県民アンケート等を実施。
- ・県地球環境イベント「アジェンダの日2012」にブース出展、パネルの展示、啓発物品の配布(6月)
- ・「ゴーイング☆ハイウェイ(主催: NEXCO 中日本・県)」(9月)、「相模原市リサイクルフェア2012(主催: 相模原市)」の市町村等環境イベントにブース出展、啓発物品の配布(10月)
- ・出前講座(教職員を対象にした3Rやレジ袋削減の取組等の講義・資料配布)の実施(7月、8月)

■ 23年度のレジ袋削減効果

「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」賛同者のうち、スーパーなどレジ袋を配布している42社839店舗の最終報告データを基に算定。

- ・レジ袋辞退率: 31.4%(推計値)・レジ袋削減枚数: 285,121,460枚(推計値)

- ・ レジ袋辞退者数：138,777,009人（推計値）・ 廃棄物削減量：2,851トン（推計値）
- ・ 原油削減量：3,926キロリットル（推計値）・ CO2削減量：17,107トン（推計値）

キャプション：「アジェンダの日 2012」



キャプション：「相模原市リサイクルフェア 2012」



【担当】 神奈川県環境農政局環境保全部資源循環課リサイクルグループ 加藤
TEL 045-210-1111（内線4151）

新潟県

平成 24 年度 3 R キャンペーン

■ 目的・趣旨

ごみ減量化を推進し、環境負荷を軽減するため、消費者・消費者団体・事業者・マスコミ・行政が一体となり、一人一人が「買い物」段階から生活を見直し、環境にやさしいライフスタイルの定着を図る。

■ 実施主体 新潟県・環境にやさしい買い物運動実行委員会

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日～31 日

■ 協力団体

消費者団体、事業者、市町村、環境にやさしい買い物運動協力店 等

■ 主な活動内容

(1) 消費者団体、事業者、市町村等に対する文書による協力依頼

マイバッグ持参の呼びかけ啓発活動や、簡易包装商品及び環境にやさしい商品の購入・販売促進等の取組について依頼

(2) 3 R 啓発周知の広報

- ・キャンペーンチラシの制作・配布（配布先：県内観光施設等）
- ・県内新聞等に啓発記事掲載

(3) 3 R に関する街頭アンケート及び啓発活動実施

実施 35 団体（消費者協会 24、生活学校 5、環境・まちづくり系市民団体等 6）

- ・対面調査によるマイバッグ持参に関するアンケート
- ・出口調査によるマイバッグ持参状況の確認
- ・アンケート協力者へ啓発グッズの配布



啓発チラシ

【担当】環境にやさしい買い物運動実行委員会事務局(新潟県県民生活・環境部消費者行政課内) 星

富山県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的または趣旨

消費者、事業者、行政等が連携を深め、消費者一人ひとりが環境とのかかわりを深く認識し、環境に配慮した生活・経済活動を実践する契機とするため。

■ 実施期間

平成 24 年 10 月 1 日～31 日

■ 実施主体

富山県、富山県レジ袋削減推進協議会

■ 主な実施内容

①「環境にやさしい買い物」

②「マイバッグ持参・お買い物マナー向上」

を併せた普及啓発資材（下）を作成し、富山県レジ袋削減推進協議会構成団体（小売事業者、消費者団体及び行政機関）に配布した。



(表)



(裏)

【担当】 富山県生活環境文化部環境政策課 村澤

石川県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

買い物へのマイバッグ持参や、環境配慮型商品の購入、簡易包装等と呼びかけること
によって、「買い物」という身近なところから、環境に配慮した生活や経済活動を促進
し、廃棄物の排出抑制や省資源・省エネルギーの意識を啓発する。

■ 実施主体 石川県、市町

■ 実施期間 平成24年6月1日～6月30日／10月1日～10月31日

■ 協力団体 社団法人 いしかわ環境パートナーシップ県民会議

■ 主な活動内容

(1) 地域イベントの開催やブース出展

- ・《金沢市》 「かなざわエコフェスタ」(10月・金沢市民芸術村)
環境にやさしい買い物に関する意識調査(アンケート)、パネル展示、啓発チラシ
入りティッシュの配布
- ・《加賀市》 「エコフェスタ in かが」(10月・加賀市中央公園)
マイバッグ持参の方に加賀市エコクーポン券配付、飲食・物販ブースでの持ち帰り
袋の原則禁止
抽選会の景品としてマイバック 250 枚を配布、ステージ発表や〇×クイズでマイバ
ッグの啓発
お絵かきマイバッグ作成ブースの出展(自由に絵を描きオリジナルマイバッグを作
成するもの)

(2) 店頭や出前講座等での普及啓発活動の実施

- ・《金沢市》 市内ショッピングセンター3か所で、風呂敷の包み方講座、意識調査(ア
ンケート)、環境にやさしい買い物に関するクイズを実施し、また、パ
ネル展示や啓発チラシ入りティッシュの配布を行った。
- ・《小松市》 市内スーパーの店頭27か所で、のぼり旗を設置し啓発ティッシュの配
布を行った。
- ・《加賀市》 市内保育園等や親子行事における環境出前講座で、お絵かきマイバッ
グ作り教室を実施した。
- ・《白山市》 市内スーパーの店頭2か所で、マイバッグ持参ののぼり旗を設置し、
啓発チラシ入りティッシュの配布を行った。
- ・《羽咋市・野々市市》 ごみ減量に関する出前講座において、地場の食材を選ぶこ
とや計画を立てて買い過ぎないといった環境にやさしい買い物の実践
を呼びかけた。
- ・《能登町》 町内スーパーの店頭でマイバッグ持参ののぼり旗を設置し、啓発チラ
シ入りエコグッズの配布を行った。

(3) 広報活動の実施

- ・《かほく市、野々市市、内灘町》
市、町広報紙に、環境にやさしい買い物の実践を呼びかける記事を掲載
- ・《宝達志水町》
町のホームページに、環境にやさしい買い物の実践を呼びかける記事を掲載
- ・《能登町》
役場庁舎前に、マイバッグ持参を呼びかけるのぼり旗を設置、町広報誌に、環境にやさしい買い物の実践を呼びかける記事を掲載、標語の募集
(入選作品は次年度カレンダーへ掲載予定)
- ・《七尾市》
市役所庁舎の環境安全課窓口マイバッグ持参を呼びかける卓上のぼりを設置

■ 写真等



風呂敷の包み方講座 《金沢市》



お絵かきマイバッグ作り教室 《加賀市》



マイバッグ持参卓上のぼりを設置《七尾市》



啓発チラシ入りティッシュの配布《小松市》



啓発チラシ入りティッシュの配布《白山市》



出前講座における普及啓発 《野々市市》



啓発チラシ入りティッシュの配布《能登町》

INFORMATION **10月は3R推進月間**

☎ 環境安全課 ☎227-6052

Reduce (リデュース) 資源の無駄遣いをなくし、ごみを減らす
Reuse (リユース) 使えるものを再使用する
Recycle (リサイクル) 資源を再生利用する

3Rは、事業者や国・自治体の取り組みとともに、消費者の皆さんの幅広い協力が不可欠です。

■環境にやさしい買い物キャンペーン
 マイバックを持参する、過剰包装を避けるなどの行動が、ごみの減量化につながるように、日常の買い物と環境問題は密接に関係しています。この3R推進月間に、環境にやさしい買い物を実践してみましょう。そのほか、製品はなるべく長期間使用する、再生資源や再生部品を利用する、分別回収に協力するなどがあります。

○市の3R推進策

- 町内会、子ども会が行う分別収集や集団回収に対する報奨金の支給
- 町内会が行う分別収集に必要な器材の貸与
- リサイクル情報ダイヤルの運用

市広報紙への記事掲載 《野々市市》

R **【ごみを減らす】**
Reduce **リデュース**

10月は、環境に配慮した生活・経済活動を促進することを目的として『環境にやさしい買い物キャンペーン』を実施しています。

- ★マイバックの使用
不要なレジ袋を辞退してマイバックを使用する。
- ★過剰包装の辞退
不要な物品包装を辞退したり、簡易包装にしてもらう。
- ★詰め替え用商品の購入
容器入りの商品ではなく、詰め替え用を選ぶ。

町広報紙への記事掲載 《内灘町》

【担当】石川県環境部地球温暖化対策室

福井県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

3R推進に関する理解と協力を求め、循環型社会の形成に向けた取り組みを推進するため、ふくい環境フェア2012において、環境にやさしい買い物キャンペーンを行い、県民の3R・ごみ減量化・リサイクル促進等に関する意識の向上を図る。

■ **実施主体** 福井県、環境ふくい推進協議会

■ **実施期間** 平成24年10月13日

■ **協力団体** エコプランふくい、福井県読書会連絡協議会、あわら市おもちゃの病院

■ 主な活動内容

①まごころ古本市

県民一人ひとりが‘ものを大切にする’意識をもち、大切な資源を有効に活用するライフスタイルに結びつくよう、大切にしてきた「本」を「欲しい人に譲る」ため「まごころ古本市」を開催した。

②おもちゃの病院

おもちゃの修理を通して、こども達の‘ものを大切にする’心を育むため、おもちゃ修理のボランティア「おもちゃドクター」による修理イベントを開催した。

③ダンボールコンポスト講習会

燃えるごみの4割以上を占める生ごみの減量化のため、自宅で簡単にできる生ごみの減量・リサイクルの方法として、ダンボールコンポスト講習会を開催した。

④リサイクル認定製品展示

県内で発生した廃棄物を利用して製造された「リサイクル認定製品」の利用促進のための展示を行った。

⑤おいしいふくい食べきり運動展示

食品ロス削減のため、買いすぎない、作りすぎない、残さず食べるなど、家庭や外食先での食べ残し減量の啓発を行った。

■ トピックス

福井県と環境ふくい推進協議会では、おもちゃ修理のボランティアを養成する「おもちゃドクター養成講座」を開催している。

受講者を中心としたおもちゃ修理のボランティアグループも次々と結成され、平成24年12月末現在、県内に4つのおもちゃ修理グループがある。

【まごころ古本市】



【おもちゃの病院】



【ダンボールコンポスト講習会】



【リサイクル認定製品・おいしいふ
くい食べきり運動展示】



【担当】 福井県安全環境部 循環社会推進課 三好 TEL 0776-20-0317

山梨県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

循環型社会を形成するためには、県民一人ひとりが循環型社会の担い手であることを自覚し、環境に配慮した生活・経済活動の促進を目的として、資源の有効利用に配慮した商品選択や過剰包装を避ける等の行動を実践することが重要である。

このため、消費者、事業者、行政等が連携して「環境にやさしい買い物」を推進し、環境に配慮した消費行動を促すことにより循環型社会の形成を図る。

■ 実施主体 山梨県

■ 実施期間 平成24年10月1日～平成24年10月31日

■ 協力団体 山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会

(レジ袋の無料配布中止を実施している事業者、消費者団体、商工団体、行政で構成する組織)

■ 主な活動内容

1 実施内容

消費者、事業者、行政等が連携し、マイバッグの持参促進を重点項目として「環境にやさしい買い物」の実践の呼びかけや啓発活動を行った。

- (1) 県ホームページやテレビ・ラジオなどの各種広報媒体を活用した啓発を行うとともに、啓発用ちらしの配布等により、消費者に対して「環境にやさしい買い物」の実践を呼びかけた。
- (2) 事業者、消費者団体、商工団体及び市町村に対し、啓発用ポスター・ちらしを配付してキャンペーンへの協力依頼や参加要請を行った。
- (3) 県職員に対し、通知及び電子掲示板により、「環境にやさしい買い物」の実践を呼びかけた。

2 キャンペーンへの参加要請店舗・団体 594箇所

- (1) やまなしエコライフ県民運動のマイバッグ推進店（「山梨県におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」参加の法人店舗）(447)
- (2) やまなしエコライフ県民運動のマイバッグ推進店（個人店舗）(10)
- (3) その他小売店舗(97)
- (4) 消費者団体、商工団体(13)
- (5) 県内市町村(27)

○ 「環境にやさしい買い物キャンペーン」 取り組み（協力依頼）内容
 消費者に対して 流通事業者・小売事業者に対して

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ・マイバッグの持参（重点項目） | ・マイバッグの持参PR（重点項目） |
| ・環境配慮型商品の購入 | ・環境配慮型商品の積極的な販売 |
| ・簡易包装への協力 | ・包装の簡素化 |
| ・はかり売り商品の購入等 | ・はかり売りによる販売 |

- | | |
|-----------|----------------|
| ・地場の食材の購入 | ・地場の食材利用商品の表示等 |
|-----------|----------------|

■ トピックス

◆マイバッグ利用推進キャンペーンの実施

山梨県と山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会が、JR甲府駅南口・北口においてマイバッグ利用推進キャンペーンを実施し、駅利用者に啓発用ちらしと啓発用物品（花・野菜の種）を配布して、買い物時のマイバッグの持参等呼びかけた。

◆啓発用ポスター



■啓発用ちらし



◆マイバッグ利用推進キャンペーンの様子



【担当】山梨県森林環境部環境創造課地球温暖化対策担当 江原
 TEL 055-223-1506 FAX 055-223-1507

長野県

平成24年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」

■ **目的** 環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築を目指し、県民一人ひとりの環境配慮意識の向上と実践活動を促進するため、環境にやさしい買い物の普及啓発を図る。

■ **主催** 長野県・信州豊かな環境づくり県民会議

■ **実施期間** 平成24年10月1日(土)～平成24年10月31日(水)

■ **協力団体等** 参加事業者 1,302 店舗 消費者団体等 24 団体

■ 実施内容

ア 懸賞の実施

消費者の関心を高め実践行動を促進するため、環境ラベルを集めて応募すると抽選で賞品が当たる懸賞を実施。

イ アンケート調査の実施

消費者の環境配慮意識を把握し今後の展開に活かすため、キャンペーン参加店舗の店頭等において全県統一のアンケート調査を実施。

ウ 「スーパーエコ探検」の実施

次世代を担う子ども達が日常生活と環境問題とのつながりに気づき、環境のことを考えて自ら行動する力を育むため、参加店舗内において環境配慮

■ 啓発活動

ア 参加事業者及び消費者団体等

- 参加事業者 ① キャンペーンポスターの掲示及びチラシの設置
② 各店舗の創意工夫による消費者への呼びかけ

- 消費者団体等 ① 全県統一アンケート調査の実施
② 各団体の創意工夫による啓発活動

イ 広報

- ホームページへの掲載 <http://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kansei/kaimono/>
- 新聞記事掲載
- 市町村広報誌、地域情報誌等への掲載
- 県内市町村の消費生活展等でのチラシ等の配布



◆ 懸賞の実施結果について

【応募方法】 指定の環境ラベルの付いた商品を購入して当該ラベルを切り取り、応募はがきまたは官製はがきに5点貼付し、必要事項を記入して応募する。

【賞品】 「MOTTAINAI ROOTOOTE 2way サーマー」60 個

【当選者の決定】 応募はがきを抽選箱に入れ、無作為に選択することにより抽選

【発表】 当選者に直接、当選通知及び賞品を送付

【応募総数】 502 通



「MOTTAINAI ROOTOOTE 2way サーマー」

◆ スーパー エコ探検の実施結果について

(1) 目的

子ども達を中心に、キャンペーン参加店舗において環境配慮型商品や店舗の環境保全への取り組みについて学習することにより、「買い物」という身近な消費活動が環境保全活動につながることに気づき、環境のことを考えて自ら行動する力を育む。

(2) 実施方法

主催者が用意したプログラムにより、キャンペーン参加消費者団体、こどもエコクラブ等が企画し実施。(内容：環境ラベル商品やゴミの出ない工夫をしている商品探し、野菜等の生産地調べ、お店のマイバッグの取組調べ、資源回収ボックス調べ、お客さんへのインタビュー等)

(3) 実施団体

団体名	実施日時	参加人数	実施場所
ジュニアラビット	10月21日	20名	イトーヨーカドー長野店
天龍村婦人会(天龍小学校)	10月中	4名	—

(4) 参加者の感想(主なもの)

- ・様々な環境マークがあることを知った。
- ・地元で採れた野菜や果物を買っていきたい。
- ・これからはゴミが出にくいものを買っていきたい。
- ・スニーカーなどリサイクル出来るものを回収している店があり、良いことだと思った。



◆ 統一アンケート調査の結果について

(1) 調査の趣旨

環境にやさしい買い物キャンペーンの一環として、消費者の買い物行動における環境配慮の状況や意識を把握し今後の展開に生かすため、消費者団体のご協力のもと、全県統一項目によりアンケート調査を実施する。

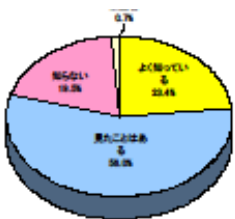
(2) 調査実施方法

ア 調査対象 期間中にキャンペーン参加店等に来店した県民(1,620名)

イ 調査方法 店頭でアンケートに記入してもらう。

ウ 調査内容 マイバッグの持参状況、レジ袋の有料化について

環境ラベルの認知度 など



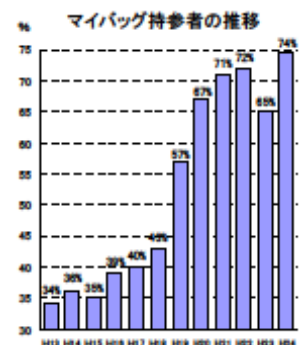
(3) 調査結果の概要 ア マイバッグの持参状況

マイバッグを持参した者は74%で、前年度より9%増加した。もらったレジ袋の使い道は、次回の買い物への利用やその他再利用など、有効利用が5割を超えた。

イ レジ袋の有料化について 「有料化に賛成」という回答が70%を占める一方、「有料化に反対」という回答は15%で、前年度(17%)より減少した。

ウ 環境ラベル(マーク)の認知度 環境ラベルを知っていると回答した人は79%で、前年度より1%増加した。

エ 環境ラベル(マーク)付き商品の購入状況 環境ラベルを知っていると回答した人のうち、積極的に環境ラベル付き商品を購入している人は35%で、前年度より4%減少した



【担当】長野県環境部 環境政策課 企画経理係 山崎

岐阜県

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

■ 目的

グリーン購入の普及と定着を図るため、東海三県一市の広域連携で、行政・団体・事業者が協働して消費者に対する啓発キャンペーンを実施し、環境に配慮した消費行動を促すことにより、持続可能な社会の構築に寄与することを目指します。

■ 実施期間

平成25年1月15日（火）から2月14日（木）まで

■ キャッチフレーズ

グリーン購入～あなたにも！地球にも！未来にも！やさしいお買い物～

■ 主催

東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会

〔 愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、日本チェーンストア協会中部支部、
グリーン購入ネットワーク、財団法人日本環境協会エコマーク事務局 〕

■ 協賛団体等

協賛：(環境ラベル団体)

FSC 森林管理協議会、MSC 海洋管理協議会、一般社団法人日本有機資源協会、
カーボンオフセットセンター (J-COF)、PEFC アジアプロモーションズ、
特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
(地元産物団体)

JA あいち経済連、JA 全農岐阜、みえの米ブランド化推進会議
(環境配慮ラベル食品取扱事業者)

味の素ゼネラルフーズ株式会社、honu 加藤珈琲株式会社、
株式会社ユニフルーティージャパン
(つめかえ商品製造事業者)

花王カスタマーマーケティング株式会社、ライオン株式会社、サラヤ株式会社
(環境ラベル商品取扱事業者)

有限会社伊勢産業、シヤチハタ株式会社、ステッドラー日本株式会社、
ゼブラ株式会社名古屋支店、株式会社トンゴ鉛筆、株式会社美濃商会
(小売り事業者)

株式会社エフピコ、株式会社フードセンター富田屋

後援：環境省中部地方環境事務所、経済産業省中部経済産業局、農林水産省東海農政局

協力：(EXPO エコマネー実施団体) 特定非営利活動法人エコデザイン市民社会フォーラム

実施内容

- (1) 参加店舗内において、ポスター、POP 等の啓発物品の掲示や、「環境ラベル商品」、「詰め替え商品」、「地元のもの・旬のもの」を扱うコーナーを設置し、「グリーン購入」の意義を消費者にPR。

(2) 懸賞応募企画

環境ラベル商品、詰め替え商品又は地元・旬のもの（東海三県産）を購入した方の中から抽選で、「エコ洗剤詰め合わせ」や「地産地消商品詰め合わせ」、「PEFC 認証商品」、「エコマーク商品」、「レインフォレスト・アライアンス認証商品」を合計 500 名様にプレゼント。

(3) キャンペーンイベントの開催

グリーン購入の意義や実践方法を紹介する消費者向けイベントを、ショッピングセンター等において開催。

(4) 参加店舗等におけるオリジナル企画の実施

一部の店舗では、「グリーン購入」に関するオリジナル企画を実施。

(5) EXPO エコマネーの発行

「懸賞応募はがき」を直接、EXPO エコマネーセンターへ持参していただいた方に、EXPO エコマネーを発行。

■ 備考

岐阜県では上記キャンペーンに併せて、県内ショッピングセンターにおいて消費者向け PR イベントを開催。

○名称 グリーン購入啓発展「すすめよう！環境にやさしいお買い物」

○日時 平成 25 年 2 月 3 日（日）10:00～16:00

○場所 アクアウォーク大垣（大垣市林町）2 階 アカデミア前

○内容 (1) 環境にやさしい買い物クイズ

環境にやさしい買い物について、展示物を見ながら学べるクイズ企画を実施。

(2) 環境にやさしい買い物に関する展示

環境にやさしい買い物の意義や実践方法、商品選択の際に参考となる各種環境ラベルをパネルで紹介。

(3) アンケート

来場者を対象に環境にやさしい買い物に関するアンケートを実施。

【担当】岐阜県環境生活部廃棄物対策課 企画調査係

静岡県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

県民、事業者、行政が一体となって「環境にやさしい買い物」を推進することにより、限りある資源を有効利用し、もって循環型社会形成の推進を図る。

■ 実施主体

静岡県ごみ減量・リサイクル推進委員会

■ 協力団体等

静岡県ごみ減量・リサイクル推進委員会構成団体（消費者団体、事業者団体、行政等）、各市町、その他事業者等

■ 主な活動内容

- (1) 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日～10 月 31 日
- (2) 参加店舗 スーパー、百貨店、生協、コンビニ、商店街等（2,511 店舗）
- (3) 内容
 - ・上記協力団体を通じ事業者及び店舗等に対してキャンペーン参加を呼びかけ
 - ・参加事業者等は下記取組項目を推進
 - ・消費者は下記の取組を推進するとともに簡易包装等の取組に協力

キャンペーンの具体的な取組項目
マイバッグの使用
包装の簡素化
マイボトル等繰り返し使える容器の使用
食べ残しの出ない買い物
その他（各主体独自の取組）

■ トピックス

- (1) オリジナルポスターを製作し、希望するキャンペーン参加店舗、市町、協力団体に配布
- (2) 県ホームページでのキャンペーンの広報
【http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-040/recycle_staff_index.html#kaimono】
- (3) 平成 24 年度資源・リサイクルフォーラムにおけるポスター掲示
- (4) 県庁舎内でのポスター掲示
- (5) 業界団体の広報誌におけるキャンペーン記事の掲載





「平成 24 年度資源・リサイクルフォーラム」



静岡県庁「県政情報コーナー」

【担当】 静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課資源循環班 菅谷則子

愛知県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

身近で日常的な「買い物」において、マイバッグの持参、環境配慮型商品の購入等の、環境に配慮した消費行動を促すことで、環境に配慮したライフスタイルの確立と持続可能な社会の構築に寄与することを目指す。

■ 実施主体 愛知県

■ 実施期間 平成24年10月1日（月）～10月31日（水）

■ 主な活動内容

- ・消費者団体及び市町村へポスターの掲示を依頼
- ・市町村のイベント会場におけるポスターの掲示（10月20日（土）・21日（日） 稲沢まつり、10月27日（土）・28日（日） 環境フェスタ江南）
- ・愛知県環境部ホームページでの広報
- ・愛知県環境情報誌「環境かわら版」（平成24年10月号）での広報

■ エコラベル商品普及促進事業のアンケート調査実施会場の様子



（稲沢まつり）



（環境フェスタ江南）

■ 今後の予定

平成24年度東海三県一市グリーン購入キャンペーン

●実施主体 東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会

●実施期間 平成25年1月15日（火）から2月14日（木）まで

●主な活動内容

- ・参加店舗におけるポスター等啓発物品の掲示
- ・環境ラベル商品、詰替え商品、地元産商品を購入した方を対象とする懸賞応募
- ・消費者向けキャンペーンイベントの開催
- ・環境学習等参加店舗のオリジナル企画

【担当】 愛知県環境部環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ 池田

滋賀県

レジ袋無料配布中止に係るキャンペーン

■ 趣旨・目的

事業者、県民団体、行政で構成する「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」では、レジ袋の削減に向けて、マイバッグやマイバスケットを持参する取組を進めてきました。

取組の一層の強化を図るため、3者による協定を締結し、平成25年4月1日から滋賀県内の食品小売り事業者を中心に、レジ袋の無料配布を中止する取組を一斉実施します。

この取組を広く県民に周知するためスーパー等の店舗で店頭啓発を行います。

■ 実施主体

買い物ごみ減量推進フォーラムしが

■ 実施期間

平成25年2月16日～3月31日のうちの13日

■ 主な活動内容

(1) キャンペーンの内容

事業者、県民団体、地元市町、県等が職員を動員して、各店舗店頭で来客者に対して、チラシやシャープン等の啓発物を配布して取組の理解と協力を呼び掛ける。また、パネル展示や環境クイズ等同時に行う。



キャンペーンポスター(案)

(2) 実施店舗数

26

(3) 実施期間

平成25年2月16日～3月31日のうちの13日（1店舗につき2時間程度）

【担当者】 琵琶湖環境部循環社会推進課 中川

京都府

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

京都府民や事業者に、買い物袋の持参やごみの発生の少ない製品の選択を呼びかけることで、ごみの減量やグリーン購入の普及に向けた啓発を実施し、持続可能な循環型社会の形成を目指す。

■ 実施主体 京都府

■ 実施期間 平成24年10月1日～10月31日

■ 主な活動内容

京都府庁において、展示物を用い、来庁者に対してレジ袋削減への啓発を実施した。
(10月15～18日)



【担当】 京都府文化環境部・エネルギー局 循環型社会推進課 循環・リサイクル担当

大阪府

平成24年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」 及び「NO！！レジ袋デー（マイバックキャンペーン）」

■ 目的・趣旨

「毎年10月の「環境にやさしい買い物キャンペーン」については、普段よりグリーン購入に関する取り組み等を実施している事業者等は多数あるが、より一層、府内の事業者に対して環境に配慮した商品やサービスの普及を働きかけ、消費者への啓発を図り、もって府民の環境に配慮したライフスタイルの実践を促すもの。

また、毎月5日を「NO！！レジ袋デー（マイバックキャンペーン）」とする取り組みにおいては、府内のスーパーや百貨店などの事業者に対し、「レジ袋の抑制」と「買い物袋持参の奨励」などの取り組みを働きかけるとともに、参加店舗の協力を得て消費者に対し、「簡易包装への協力」「買い物袋の持参」などを呼びかけるもの。

■ 実施主体

大阪府・豊かな環境づくり大阪府民会議・大阪府リサイクル社会推進会議

■ 実施期間

平成24年10月1日～平成24年10月31日（NO！！レジ袋デーは10月5日）

■ 協力団体

大阪府下のスーパー・百貨店・生活協同組合・商店街・コンビニ等の協力を得て、「環境にやさしい買い物キャンペーン」（4,050店舗）及び「NO！！レジ袋デー（マイバックキャンペーン）」（535店舗）を実施した。

■ 主な活動内容等

- ・キャンペーンの参加協力店舗に対し、ポスターの掲示や、店内放送等による消費者への啓発や、環境配慮型商品の販売や量り売りの取り組み促進を働きかけた。
- ・NO！！レジ袋デーでは、東大阪ブロック・京阪奈北レジ袋削減推進会議などによる啓発キャンペーンにおいて、駅前やスーパー等の前で市民の皆様呼びかけや啓発物品の配布を行った。

【担当】大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室
地球環境課環境活動推進グループ 青木

兵庫県

平成24年度

『地球環境時代！新しいライフスタイル展開キャンペーン』

■ 目的・趣旨

「まったなし」の地球環境を見据え、地域からの日常生活や事業活動を見直すことで、環境に配慮した生活・環境と調和した新しいライフスタイルを構築することが求められている。

そこで、地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～新しいライフスタイル委員会及び兵庫県が、県内外の団体の参画のもと、10月を「地球環境時代！新しいライフスタイル展開キャンペーン」月間として、環境に配慮した消費行動や事業活動を促進する。



■ 実施主体

地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～新しいライフスタイル委員会、兵庫県

■ 実施期間 平成24年10月1日(月)～10月31日(水)

■ 参加団体・事業者

(1) 活動団体	30 団体	
(2) 店舗	54 事業者	2,186 店
百貨店・スーパーマーケット・ 複合施設等	44 事業者	554 店
コンビニエンスストア	10 事業者	1,632 店
(3) 市町	19 市町	
(4) 協力事業者	5 事業者	

■ 主な活動内容

(1) 活動団体の取組

- ・ 学習会、環境関連イベントの開催
- ・ 街頭・店頭キャンペーンの実施
- ・ パネルの展示、ポスターの掲示、ちらし・グッズの配布
- ・ 広報紙等への掲載

【活動団体】

① 県域団体

地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～新しいライフスタイル委員会、(財)ひょうご環境創造協会、兵庫県連合婦人会、兵庫県消費者団体連絡協議会

② 地域団体

赤穂市消費者協会、芦屋市消費者協会、尼崎消費者協会、淡路市消費者協会岩屋支部、揖保郡太子町連合婦人会、加古川市連合婦人会、川西市生活学校連合会、加西市連合婦人会、上郡町消費者協会、くらしあい、神戸市消費者協会、宍粟市消費者協会、NPO 法人消費者協会宝塚、洲本市消費者協会五色支部、たつの市エコ仲間、丹波市消費者協議会、丹波市連合婦人会、西脇市市民エコ会議、西脇市消費者協会、西脇市保健衛生推進委員会、二水会、姫路消費生活研究会、福崎町消費者の会、美方郡連合婦人会、三木市消費者協会、養父市連合女性会

(2) 店舗の取組

- ・ マイバッグ持参のPR、包装の簡易化、はかり売りの推進、地産地消の推進
- ・ ポスターの掲示、ちらしの配布

【店舗】()内は店舗数

①百貨店・スーパーマーケット・複合施設等

イオン(株)(29)、(株)イズミ(1)、イズミヤ(株)(12)、(株)イトーヨーカ堂(4)、(株)銀ビルストア(14)、くらしの百貨おくも(1)、神戸新聞興産(株)カルメニ事務所(16)、(株)神戸ニュータウン開発センター(1)、(株)神戸ファッションプラザ(6)、(株)光洋(11)、(有)こめやストア(1)、ジャンボ西村(株)(1)、(株)さとう(1)、三田地域振興(株)(28)、サンデパート(1)、山電不動産(株)(1)、商店街コミュニケーション実行委員会(1)、(株)神鉄エンタープライズ(1)、協同組合洲本公設市場(1)、生活協同組合コープこうべ(92)、生鮮&業務スーパー氷上店(1)、西淡まちづくり(株)(1)、(株)そごう・西武(2)、園田阪急プラザ商店会(45)、(株)ダイエー(39)、(株)大丸松阪屋百貨店(4)、高砂商業振興(株)アスパ高砂(45)、(株)丹波の森ショッピングタウン(1)、(株)東急ハンズ(1)、(株)にしがき(4)、日生中央サピエ(35)、(株)阪急商業開発モザイクボックス(50)、(株)阪急百貨店(7)、(株)阪食(15)、(株)肥野ストア(4)、(株)平和堂(3)、マイショップ名塩(1)、マルヨシセンター(2)、三ツ丸ストアプラザ市島店(1)、(有)宮脇商店木器亭(1)、メルカート(1)、(株)ライフコーポレーション(12)、ららぽーとマネジメント(株)(43)、(株)良品計画(13)

②コンビニエンスストア

(株)九九プラス(43)、国分グローサースチェーン(株)(2)、(株)ココストア(1)、(株)サークルKサンクス(172)、(株)セブン-イレブンジャパン(434)、(株)デイリーヤマザキ(48)、(株)ファミリーマート(324)、(株)ポプラ(22)、ミニストップ(株)(42)、(株)ローソン(544)

(3) 市町の取組

- ・ 関連イベントの開催（マイバッグ、ごみ減量、環境美化等）
- ・ 研修会、セミナーの実施
- ・ ポスターの掲示、ちらしの配布
- ・ ホームページ・広報紙等への掲載による啓発

【市町】

明石市、尼崎市、加古川市、川西市、神戸市、篠山市、佐用町、三田市、宍粟市、新温泉町、洲本市、太子町、たつの市、丹波市、西宮市、西脇市、播磨町、姫路市、養父市

(4) 協力事業者の取り組み

- ・ 鉄道会社に協力を依頼し、駅掲示板等にポスターを掲示

【協力事業者】(5事業者)

神戸市交通局、神戸電鉄(株)、山陽電気鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)



普及啓発ポスター・ちらし(表)



普及啓発ちらし(裏)



イベントでの啓発活動
(上郡町)



店舗前での啓発活動
(豊岡市)



イベントでの啓発活動
(赤穂市)



イベントでの啓発活動
(姫路市)

【担当】兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課エコライフ係 那波 恭子

奈良県

マイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

3 R月間にあわせて消費者に対して環境に配慮した消費行動を促し、循環型社会の形成を図る。事業者、ボランティア団体、行政が連携して事業を実施することにより、地域社会における環境保全行動の推進につなげる。

■ 実施主体

奈良県環境県民フォーラム 資源活用分科会

■ 実施期間

平成 24 年 11 月 22 日

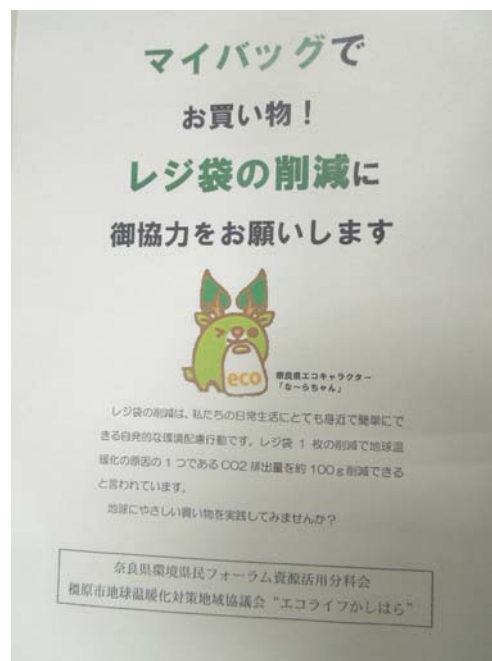
■ 協力団体

奈良市地球温暖化対策地域協議会NEW、“ザ・ビックエクストラ大安寺店”、イオンビック株式会社

■ 主な活動内容

多くの買い物客が訪れる大型ショッピングセンターにてキャンペーンを実施した。買い物客に啓発物品（チラシ・エコバッグ）を配布し、マイバッグ持参によるレジ袋削減を呼びかけた。

配布したチラシ



【担当】奈良県景観・環境局環境政策課 主査 近藤 智紀

和歌山県

平成 24 年度環境にやさしい買い物キャンペーン

■目的・趣旨

消費者に身近な買い物から環境にやさしいライフスタイルを実践するため、事業者のご協力のもと、環境に配慮した商品・サービスの普及を図り、「簡易包装」「環境に配慮した商品の購入」「マイバックの持参」等の呼びかけにより、環境に配慮した生活・経済活動を促進します。

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日(月)～10 月 31 日 (水)

■ 実施主体 和歌山県

■ 協力団体

和歌山県商工会連合会 和歌山県商店街振興組合連合会 和歌山県生活学校連絡協議会
和歌山県くらしの研究会 和歌山県商工会議所連合会 和歌山県中小企業団体中央会
和歌山県婦人団体連絡協議会

■ 主な活動内容等

和歌山県内のスーパーマーケット・ホームセンター・百貨店・コンビニ等、22事業所
394店舗に御協力いただきました。

○イオンリテール(株) ○イズミヤ(株) ○(株)オークワ
○近鉄百貨店(株) ○(株)九九プラス ○(株)グルメシティ近畿
○(株)ココストア ○(株)サークルKサンクス ○(株)セブン-イレブンジャパン
○(株)高島屋 ○ダイエー(株) ○太地町漁業協同組合漁協スーパー
○(株)デイリーヤマザキ ○(株)ファミリーマート ○Vショップチェーン協同組合
○(株)プラス ○吉野ストア(株) ○(株)ローソン
○(株)良品計画 ○和歌山県Aコープチェーン ○わかやま市民生活協同組合
○和島興産フォルテ食品館(株)

県が配付するキャンペーンポスター(環境省作成キャンペーン統一デザイン)を店内に掲示し、『環境にやさしい商品の購入』、『買い物袋の持参(マイバック)』などを消費者に呼びかけを行いました。消費者への具体的な呼びかけ方法は、各店舗の取組方法により実施しました。

■ 『買い物袋持参』の呼びかけ

- 取組例：店内放送やレジでの声かけを行う。
買い物袋を販売する。 など

■ 『環境に配慮した商品の購入』の呼びかけ

- 取組例：環境にやさしい商品を表示する。
チラシ広告でPRする。
対象商品のコーナーを設ける。 など
- 対象商品：再生紙を使用したトイレットペーパー
詰替商品（シャンプー、リンス、台所用液体洗剤等）
エコマークなどの環境ラベルのついた商品
その他リサイクル製品や省エネ製品などの環境配慮型商品

■ トピックス

わかやまノーレジ袋推進協議会の賛同事業者である（社）和歌山県自動車整備振興会等が主催する下記イベントで、レジ袋削減を呼びかけました。

<イベント内容>

〔イベント名〕2012クルマジャンボリー

〔開催日時〕平成24年10月21日（日）

〔内容〕イベント会場内でのポスター（右図）を掲示

啓発物資（携帯用エコバッグ、
ポケットティッシュ）の配布



【担当】和歌山県庁 環境生活部 環境政策局 環境生活総務課
温暖化対策推進班 尾崎 里紗

鳥取県

平成24年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」

■ 目的・趣旨

買い物袋の持参、レジ袋を断る、簡易包装の商品を選択するなど具体的な行動を促すことにより、ごみの減量化に対する意識の高揚と県民一人ひとりのライフスタイルを見直すきっかけを作ることを目的とする。

■ 実施主体 鳥取県

■ 実施期間 平成24年10月～11月

■ 協力団体

ノーレジ袋推進協議会

(県内のスーパー、コンビニ、百貨店、ホームセンター、ドラッグストア、クリーニング業者、消費者団体、商工会議所、市町村等から構成される任意の協議会)

■ 主な活動内容

(1) ノーレジ袋デー(通年・毎月10日を中心)キャンペーンの実施【みんなで取り組む4つのR】

- ・ 実施日：毎月10日ノーレジ袋デーを中心とした日
- ・ 場 所：スーパー等
- ・ 内 容：ポスター・のぼりの掲示、店頭キャンペーン等により啓発資材の配布、店舗毎の特典制度(ポイント付与、スタンプ押印、キャッシュバック)のPRを通じたレジ袋削減の呼びかけ

(2) 広報による啓発

- ① 県ホームページでの啓発
- ② 啓発チラシの配布

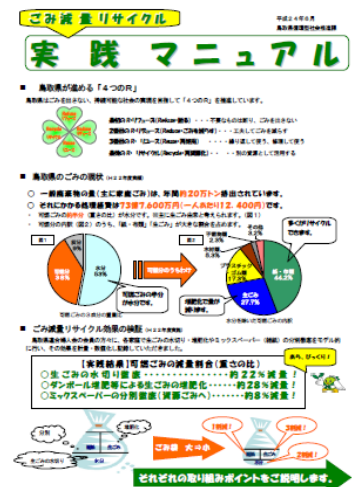
(3) イベントによる啓発

① みんなのエコフェスタ in とっとり

- ・ 実施日：平成24年11月10日(土)
- ・ 場 所：コカ・コーラウエストスポーツパーク鳥取県民体育館(鳥取市布勢)
- ・ 内 容：マイバッグの展示、新聞紙マイバッグ作り、マイバック(500枚)の配布、マイバッグ寸劇 等

② 食のみやこ鳥取県フェスタ

- ・ 実施日：平成24年11月10日(土)～11日(日)
- ・ 場 所：コカ・コーラウエストスポーツパーク(鳥取市布勢)
- ・ 内 容：のぼり・パネルの掲示、「ごみ減量・リサイクル実践マニュアル」、
「みんなで取り組む4つのR」パンフレットの配布、食品残渣由来液肥で育てたサツマイモの試食提供 等



【ごみ減量・リサイクル実践マニュアル】

③ リファーレンいなばエコフェスタ

- ・ 実施日：平成24年11月4日（日）
- ・ 場 所：リファーレンいなば（鳥取市伏野）
- ・ 内 容：のぼり・パネルの掲示、「ごみ減量・リサイクル実践マニュアル」、
「みんなで取り組む4つのR」パンフレットの配布 等

■ トピックス

平成24年10月から県東部地域のスーパーマーケットなど10事業者46店舗でレジ袋の無料配布中止を開始。レジ袋辞退率は、45.3%から85.4%に大きく上昇した。

【写真】



マイバッグの展示



新聞紙マイバッグ作り



マイバッグ寸劇



ノーレジ袋デーキャンペーン



食のみやこ鳥取県フェスタ



リファーレンいなばエコフェスタ

【担当】 鳥取県生活環境部循環型社会推進課 戸野

島根県

しまねレジ袋削減キャンペーン

■ 目的・趣旨

県民のマイバッグ持参による買い物で、レジ袋の使用を削減し、ごみの発生を減らす社会づくりに向けて、自ら行動することを目的とする。

平成24年9月1日には、県内全8市においてレジ袋の無料配布が中止されることもあり、実施市においての店舗拡大への支援・協力、新しい業態（コンビニエンスストア）の顧客層をターゲットにした普及啓発も市町村等と協力しながら実施した。

■ 実施期間 平成24年10月の3R推進月間を中心とした9月～11月

■ 実施主体及び関係機関

島根県、各市町村・地球温暖化対策地域協議会、島根県地球温暖化対策協議会、島根県地球温暖化防止活動推進センター

■ 活動内容、トピックス

(1) 全県民への普及啓発

- ①新聞広告掲載、しまねエコショップへの普及啓発（ポスター、ミニのぼり配布）を行った。
- ②島根県と包括業務提携協定を結んでいるローソン及びファミリーマートでの普及啓発（県内全店舗にステッカー、ポスター、ミニのぼり、店頭のぼり配布）を行った。

(2) レジ袋無料配布実施市への支援

新たにレジ袋無料配布中止の取組を行う市で開催されるセレモニーに参加し、量販店でパネル展示や啓発冊子配布、アンケート等を実施した。

(3) 県内のイベントに出展

県内各地で開催されるイベント等開催地の市ごみ減量化・地球温暖化対策担当課と連携してマイバッグ持参、ごみ減量化等に資する県のブースを出展し、展示や体験コーナーを通じて普及啓発を行った。

① 安来市環境フェア（平成24年9月）

県の普及啓発ブースの中で、体験コーナー「吉田くん手ぬぐいからエコバッグを作ってみよう」を実施した。

体験者から「手ぬぐいや風呂敷を利用することでレジ袋の削減に繋がる。みんなで風呂敷を利用する生活になればいいね。」という意見も出た。



平成24年9月9日（日）
 やすぎ環境フェア
 体験コーナーで、手ぬぐいからエコバッグを作成した

② まずだ産業祭（平成24年10月）

県が益田市及び益田市地域協議会と一緒に普及啓発ブースを設置した。益田市においては地球温暖化防止活動推進員の発案をもとに、レジ袋無料配布中止店やレジ袋削減協力店に島根県産材を活用した表示板を各店舗に配布しており店舗側に喜ばれている。



島根県益田市でレジ袋無料配布中止店及びレジ袋削減協力店に配布されている木製表示板

【担当】 島根県環境生活部環境政策課 低炭素・循環型社会推進スタッフ
 企画幹 植田 一枝

岡山県

環境にやさしい買い物キャンペーン(岡山県統一ノーレジ袋デー)

■ 目的・趣旨

岡山県では、家庭ごみを少しでも削減するため、また、レジ袋の削減を通して環境にやさしいエコ・ライフスタイルを広めるため、スーパーマーケットやドラッグストア、ホームセンターなどの事業者、消費者・環境団体、市町村と協働して、平成22年6月から毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、買い物の際に「レジ袋を受け取らないようにする運動」を展開している。

10月～11月には、ノーレジ袋デーをはじめとする買い物における「3R」の実践を広く県民に呼びかけた。

■ **実施期間** 平成24年10月～11月

■ **実施主体** 岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

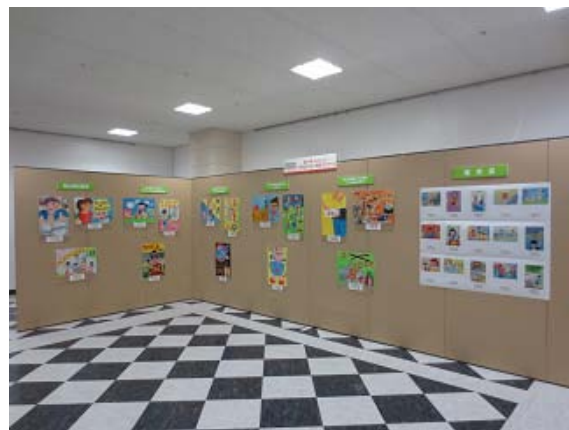
■ **協力団体** 事業者、環境・消費者団体、市町村

■ 活動内容

- 啓発用資材（のぼり旗、ポスター、ステッカー）の掲示及びレジ精算時の呼びかけ
- 啓発チラシの配布（店頭、各種イベント会場）
- ラジオ、広報紙、ホームページによる広報
- マイバッグ持参に関するアンケート調査協力者へのマイバッグ抽選会の実施
（「おかやま・もったいない」晴れの国フォーラム（平成24年11月11日（日））
- 「おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール」（マイバッグ部門）及び「おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト」優秀作品の表彰
（「おかやま・もったいない」晴れの国フォーラム（平成24年11月11日（日））



「おかやま・もったいない」晴れの国フォーラムでの
「岡山県統一ノーレジ袋デー」普及啓発



「おかやま・もったいない！小学生ポスター
（絵画）コンクール」優秀作品の展示
（津山会場(アルネ津山4階図書館前広場)）

【担当】岡山県環境文化部循環型社会推進課資源循環推進班 主幹 大熊光世
TEL 086-226-7306 FAX 086-224-2271

広島県

「ひろしま環境の日」行動宣言(エコな買い物)の募集

■ 目的・趣旨

平成22年6月にスタートした「ひろしま環境の日」(毎月第一土曜日)の趣旨に賛同し、「実践行動」に取り組む企業・学校・活動団体等による「行動宣言」の募集・登録を行い、その取組内容等を広く県民に周知する。

【「実践行動」の内容】

- ① エコドライブ・エコ通勤
- ② エコな買い物
- ③ 省エネ生活

■ 実施主体 広島県

■ 実施期間

通年(平成26年3月31日まで)

■ 主な活動内容

(1) 「行動宣言」の募集・登録方法

- ① 登録開始日：平成23年6月1日
- ② 対 象：広島県内の企業，学校，地域活動団体等
※企業全体，事業所，企業グループのいずれも可
- ③ 登録内容：「ひろしま環境の日」の実践行動内容
- ④ 受付方法：書面申請又は電子申請による
- ⑤ 登録期間：登録日から平成26年3月31日まで

(2) 登録証の交付及びロゴマークの使用

- ・登録者には登録証を交付
- ・「ひろしま環境の日」の趣旨への賛同者は，ロゴマークの使用を可能とする。

(3) 取組内容の紹介

公表に同意した登録者の実践行動について，その内容を県ホームページやイベント等で紹介する。

【担当】広島県環境政策課 主幹 青山秀雄



【チラシ】

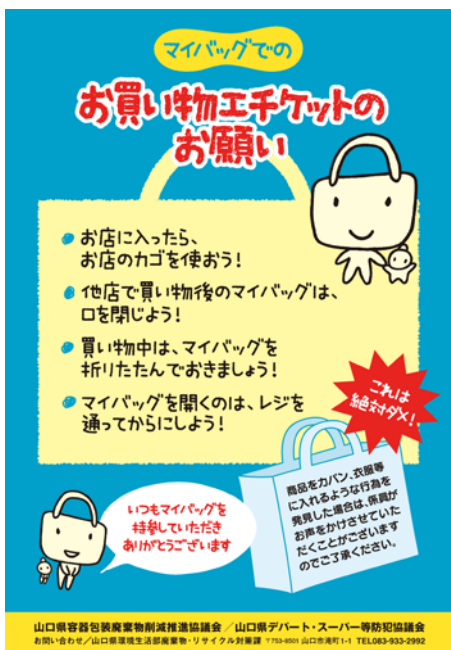


【ロゴマーク】

山口県

やまぐちいきいきエコフェア

- 目的・趣旨 レジ袋無料配布中止運江王の推進
- 実施主体 山口県
- 実施期間 平成24年10月13日、14日
- 協力団体 山口県容器包装廃棄物削減推進協議会
- 主な活動内容 ポスター掲示及びうちわの配布及びぬりえ（うちわの裏面）
- その他 写真、チラシ、ポスターなどの画像と説明



ポスター (2,000 枚)

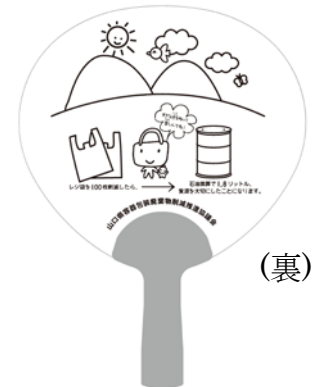


ステッカー(2,500 枚)



(表)

うちわ
(6,000 枚)



(裏)

◆説明

上記キャンペーンのほかに、協議会会員全ての店舗にポスター及びステッカーを配布し、店舗入口やレジに貼り付けるとともに、会員店舗において、夏から秋にかけて開催したイベントや感謝祭でうちわの配布

【担当】 山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課 ゼロエミッション推進班 梶井浩

徳島県

吉野川市マイバック持参キャンペーン

■ 目的・趣旨

レジ袋削減に向けた取り組みを率先して取り組んでいる吉野川市では、これまで地球温暖化の主な原因となる二酸化炭素は(CO₂)の削減とゴミの減量化を図るため、平成23年3月9日に事業者、市民団体及び行政が協定を結び、2年以内にマイバックの持参率を60%以上を目標として、協働でマイバック持参・レジ袋削減運動に取り組んでいる。

そこで、3R推進月間である10月にマイバック・マイバスケット持参キャンペーン・イベントを行うことで、更なるマイバック持参率の向上を図りレジ袋削減の取り組みを支援した。

■ **実施主体** とくしま環境県民会議、徳島県、吉野川市

■ **実施期間** 平成24年10月1日～10月31日

■ **協力団体** 吉野川におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定締結団体

■ 主な活動

(1) 吉野川市マイバック持参キャンペーンの実施

期間：平成24年10月1日～31日

場所：吉野川市の参加店舗

内容：①店舗にマイバック持参キャンペーン実施中の「のぼり」、「ポスター」の設置
②レジ等においてレジ袋削減の呼びかけを行う。

協力団体：吉野川市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定締結団体

実施店舗：キョーエイセレクト店・山川店、ママの店鴨島店、ひまわり農産市、
五九郎マーケット、五九郎マルシェ、五九郎昭和店
吉野川市内の徳島県エコショップ（マイバック持参を推進する店）

(2) 吉野川市マイバック持参キャンペーンの特別イベント

時期：平成24年10月10日(水)9:30～12:00

(毎月10日は、マイバック持参の日)

場所：吉野川市内の参加店舗

内容：①マイバック持参者へのエコボールペンのプレゼントやチラシの配布
②「とくしまマイバックでお買い物隊員」の募集を行う
(隊員になるとマイバックがもらえる)。

③マイバッグガールズによる「MAIBAGの歌の演奏」

協力団体：吉野川市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定締結団体

実施店舗：キョーエイセレクト店・山川店、ママの店鴨島店、ひまわり農産市、

■ その他 活動状況



幟の設置状況



ちらしの配布



キャンペーンポスター



キャンペーン幟



「MY BAG GIRLS」の歌による PR



マイバックでお買い物隊員の募集

【担当】 徳島県県民環境部環境総局環境首都課 環境創造担当 原田真治

香川県

買い物でエコ！キャンペーン2012

■ 目的・趣旨

10・11 月を強化月間として、グリーンコンシューマー10 カ条の啓発に努め、環境にやさしいライフスタイルへの転換を呼びかけるためにキャンペーンを実施した。

■ 実施期間 平成24年10月・11月

■ 実施主体 環境にやさしい買い物推進協議会

■ 協力団体 協議会会員(県・各市町、消費者団体、事業者)

■ 主な活動内容

消費者団体 スーパー店頭での消費者団体による呼びかけ、会員への周知など

事業者 店舗でのマイバッグ持参の店内放送・レジでの声かけ、マイバッグ持参者への特典付与、啓発チラシの配布、買い物袋持参率調査の実施

行政 広報活動(チラシの作成など)

■ トピックス

11 月4 日(日)にサンポート高松多目的広場で開催された「3R推進中国四国地方大会&うどん県。まるごと循環サミット」に出展し、啓発活動を行った。

①消費者団体による呼びかけ



②啓発イベント



【担当】香川県危機管理総局くらし安全安心課内

環境にやさしい買い物推進協議会事務局担当 藤井 貞吉

愛媛県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進することを目的として、県民（消費者）、事業者及び行政が連携し、ごみ減量化のための買い物袋持参や環境にやさしい商品の販売・購入などを推進する。

■ 実施主体 愛媛県

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日～10 月 31 日

■ 協力団体 量販店等事業者、市町

■ 主な活動内容

(1) 県内事業者、商店街振興組合、市町に対する文書による協力要請、**県庁内各課に対しポスター掲示の依頼**

<参加事業者等>

百貨店、スーパーマーケット、ホームセンター等 .32 事業者（324 店舗）
商店街振興組合 6 組合

※ 参加事業者等では、県民（消費者）に対して買い物袋（マイバッグ）の持参の呼び掛け、簡易包装の推進、詰め替え商品・再生品などの販売促進等を実施。

(2) 県のホームページを通じた周知（次ページ掲載）

(3) 「愛媛の 3 R 企業展」（10 月 6 日（土）、10 月 7 日（日）開催）での啓発活動
ポスターの掲示、3 R を周知するためのクイズの実施、
啓発グッズ（マイタンブラー）の配布

■ 写真等



「愛媛の 3 R 企業展」での様子



愛媛の 3 R 企業展開催案内チラシへの掲載

〇県ホームページ「環境にやさしい買い物キャンペーン」

『環境にやさしい買い物キャンペーン』

掲載日: 平成24年10月1日

県では、「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進することを目的として、ごみ減量のための買い物袋持参や環境にやさしい商品の販売・購入などを推進する「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施します。

期間中、下記参加事業者等の店舗では、マイバッグ持参者への特典や、環境にやさしい商品などの販売促進のほか、店内放送によるお客様への呼びかけなど、環境に配慮したそれぞれの取組みが行われます。

皆様もこの機会に、マイバッグを持参する、地元産品を購入する、過剰包装は断わる、再生品や詰め替え製品を選ぶなど、「環境にやさしい買い物」を始めてみませんか。



実施期間	平成24年10月1日(月曜日) から 10月31日(水曜日) まで
リーフレット	キャンペーン用リーフレット (PDF:367KB)
その他	全国の状況は、 3R活動推進フォーラムのホームページ をご覧ください。

〇参加事業者等

【百貨店、スーパーマーケット、ホームセンター等 32事業者(324店舗)】

(株)伊予鉄高島屋	(株)松山三越	今治立花農業協同組合 (くみあいマーケット)
SUPER CENTER A★MAX 愛南店	(株)大見屋 しんばし	(株)木村チェーン
(株)SUNNY MART	サンエース 南店	イオン今治店
サン薬局	生活協同組合 コープえひめ	(株)新鮮館
(株)そごうマート	(株)トミナガ	日本ディールシステム(株) (グリーンセンターてんとうむし)
西村ジョイ(株)朝生田店	(株)波止浜スーパー	(株)フジ
ホームセンター タイム伊予三島店	(株)セブンスター	(株)松山生協
(株)エーピーシー	(株)あさかわマート エフコ東本店	ダイキ(株)
サンヨー食品(株) 業務スーパー	(株)Aコープ西日本	(株)レディ薬局
マックスバリュ西日本(株)今治阿方店	ホームセンターハルク	ホームセンターフジオカ
(株)ママイ	(株)マルナカ	

【商店街振興組合 6組合】

川之江茶町商店街振興組合	西条中央商店街振興組合	松山銀天街第一商店街振興組合
松山河原町商店街振興組合	宇和島袋町商店街振興組合	宇和島重美須町二丁目商店街振興組合



PRキャラクター コマメちゃん (出典: 環境省)

【担当】愛媛県民環境部環境局循環型社会推進課 計画推進係

高知県

「男も（女も）持つぞ！マイバッグ」キャンペーン2012

■ 目的・趣旨

地球温暖化対策は、県民一人ひとりが日常生活の場や職場でできることからコツコツと継続して考え、行動に問い組むことが重要である。

このため、民間団体、事業者、行政が連携して、レジ袋削減キャンペーンを実施し、身近な買い物から環境にやさしいライフスタイルの実践を呼び掛ける。

■ **実施主体** 高知県地球温暖化防止県民会議県民部会（県委託業務）

■ **実施期間** 平成24年10月1日（月）～11月31日（金）

■ 協力団体

① 「男も（女も）持つぞ！マイバッグ」キャンペーン2012

参加申し込み：26団体(前年比144%)、1,278名(前年比158%) 平成24年11月30日現在

② スーパーマーケット対抗レジ袋削減コンテスト2012

イオンリテール株式会社	高知県庁消費生活協同組合
こうち生活協同組合	株式会社サニーマート
株式会社ナンコクスーパー	株式会社エースワン
株式会社サンシャインチェーン本部	株式会社サンプラザ
株式会社フジ	株式会社マルナカ高知事業部

■ 主な活動内容

レジ袋削減運動の実効性を高めるため、「男も（女も）持つぞ！マイバッグ」キャンペーン2012を開催した。

本年度は四国で初めて「消費者」側と「販売店」側の両面から同時に次の2つのキャンペーンを実施し、相乗効果による温室効果ガス（CO₂）排出抑制を目指した。

① 「男も（女も）持つぞ！マイバッグ」キャンペーン2012

県民の買い物時のマイバッグ持参を推し進め、レジ袋を辞退する回数や量を増やし、温室効果ガス（CO₂）の排出抑制を目指した。

- ・啓発用ポスター掲示、申込チラシ配布、ホームページ、メールによる参加呼びかけ実施
- ・企業・団体・自治体・個人のグループなどが参加し、買い物時にレジ袋を断った回数を競う。

② スーパーマーケット対抗レジ袋削減コンテスト2012

県内主要スーパーマーケット10社が参加し、各店舗のレジ袋の辞退率（一会計ごとにレジ袋を断った割合）を競うことにより、スーパーマーケット業界を挙げて辞退率を改善しCO₂の排出削減を目指した。

- ・主要各社の店頭で啓発用ポスターを掲示
- ・店頭チェッカー用缶バッジの作成と配布
- ・各店舗の削減率速報を発信

■ トピックス的は事例

スーパーマーケット対抗レジ袋削減コンテスト 2012 における「株式会社エースワン・ラッキーセブン エーマックス赤岡店」の取組

高知県内のスーパーマーケット対抗で開催されている「レジ袋削減コンテスト」の取り組みにおいて、「レジ袋辞退率 17%」を目標に、地域との協働を図りながらレジ袋削減のアピールを行った。

また、レジ袋削減の取り組みと並行して、マイバッグやマイバスケットの販売促進を実施した。

取組内容

- ① 各店舗が独自の「レジ袋辞退で2円引き」のアピールPOPを作成し、レジ前に掲示した。



- ① スタッフへの周知徹底

レジ袋辞退の際、レジでカウントを忘れることがあったため、スタッフへの再指導を実施した。

- ② マイバッグ特設売場の設置

レジ袋辞退の際に必要な becoming マイバッグやマイバスケット等をサービスカウンター南側の出口付近に展示スペースを確保して展示・販売した。



- ③ 地元小学校との連携による「エコ標語ポスター展」の実施
地元の赤岡小学校に協力を得て、児童の手書きによるエコ標語ポスターを店頭で展示した。



■ 写真、チラシ、ポスター、缶バッジ



男も持つぞ!!
マイバッグ
キャンペーン
 2012
 10.1 → 11.30

趣旨
 高知県地球温暖化防止県民会議(以下「県民会議」といふ)県民部会では、マイバッグ持参によるレジ袋削減を推進(レジ袋の取扱い)を目的として、お買い物のレジ袋の削減を促す「マイバッグキャンペーン」を開催します。4年度となる今回は、県民会議の目的・趣旨を踏まえ、県民によるグループでの参加も取り、県下全域に呼び込みを図ります。

申し込み・申込書様式
 申し込みは、高知県地球温暖化防止県民会議(以下「県民会議」といふ)県民部会事務局にて受付いたします。申し込みは、申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAX、メール、郵送にて事務局へお申し込みください。
申込書様式 2012年9月29日(土曜日)
FAX 088-802-2205
E-mail center@ecolabo-kochi.jp

取得方法
 高知県地球温暖化防止県民会議(以下「県民会議」といふ)県民部会事務局にて取得いたします。申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAX、メール、郵送にて事務局へお申し込みください。

参加申し込み用紙 申込日 2012年 月 日

下記の項目をご記入の上、事務局までFAX、メール、または郵送でお申し込みください。

グループ名 (団体・事業所・店舗名等)	
受取人姓	名 (内男性 名)
申し込み責任者	
連絡先住所	〒
連絡先電話番号	
メールアドレス	

ホームページ掲載に関するご確認
 このキャンペーンの活動は県民会議のホームページに掲載することについて、ご意向をお伺いします。

グループ名(団体・事業所・店舗名等)を掲載することを	承諾する	-	承諾しない
運営活動費(0円)の取扱いを掲載することを	承諾する	-	承諾しない

高知県地球温暖化防止県民会議 県民部会 事務局 特定非営利活動法人 環境の杜こうち
 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地 こうち男女共同参画センター(ソーレ3階)
 TEL: 088-802-2201 FAX: 088-802-2205 E-mail: center@ecolabo-kochi.jp

<http://npo-kankyonomori.com/kenminkaigi/> 申し込み



【担当】 高知県地球温暖化防止県身会議県民部会事務局 (県委託事業)
 (特定非営利活動法人 環境の杜こうち)
 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地 こうち男女共同参画センター(ソーレ3階)
 HomePage: <http://npo-kankyonomori.com/kenminkaigi/>

福岡県

マイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

買い物袋の持参、レジ袋を断わる、簡易包装の商品を選択するなど具体的な行動を促すことで容器包装廃棄物の排出抑制を啓発するとともに、ごみ減量化に係る県民の意識高揚を図る。

特に10月を「買い物袋持参運動（マイバッグキャンペーン）」の強化月間とし、県内一斉行動参加店の協力のもとレジ袋削減に向けた取り組みを実施する。

■ 実施主体

福岡県

■ 実施期間 平成24年10月1日～10月31日（強化月間）

■ 主な活動内容

- (1) マイバッグキャンペーン一斉行動参加店の募集
 - ・ 募集期間 平成24年5月22日（火）～平成24年7月24日（火）
 - ・ 参加店舗数 2,154店
- (2) マイバッグキャンペーンポスターの作成
 - ・ マイバッグキャンペーンポスターを作成し、市町村、ごみと資源を考える福岡県民会議会員（消費者団体、業界団体等）、事業者等に配布。

■ その他

平成24年度マイバッグキャンペーンポスター画像



【担当】福岡県環境部循環型社会推進課 企画係 山下朋子
TEL 092-643-3371

佐賀県

佐賀県マイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

佐賀県マイバッグ・ノーレジ袋推進店、県民、市町及び県の連携のもと、レジ袋の削減に積極的に取り組むことにより、県民のごみの減量化、リサイクル及び地球温暖化防止に対する意識の高揚を図る。

■ 実施主体 佐賀県、各市町

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日～10 月 31 日（強化月間）

■ 協力団体 佐賀県マイバッグ・ノーレジ袋推進店 944 店

■ 主な活動内容

◆ 推進店の募集

県のホームページ、各市町を通じて推進店募集を呼びかけ。

◆ 店舗での啓発活動

「レジ袋必要ですか？」の声かけやキャンペーンチラシの掲示等を実施。

◆ 県政広報番組（テレビ、ラジオ）での啓発

マイバッグ持参をはじめとする環境にやさしいお買いものの具体的事例について放送

◆ 環境イベントでのパネル展示

「未来さが環境キャラバン」（開催日：9 月 29 日・30 日、11 月 3・4 日）の会場内にレジ袋削減や環境にやさしいお買いものに関するパネルを展示。

◆ 各市町による広報・普及啓発

市・町報による広報や街頭でのチラシ配布等を実施（主なものは以下のとおり）

佐賀市街頭キャンペーン (10 月 5・17・19 日)	市内スーパー 3 店舗において、マイバッグ持参、天ぷら油のリサイクル、雑がみの紙袋回収に関するアンケート調査を実施。
佐賀市こども環境作品展 (10 月 20 日～26 日)	市立図書館において、夏休みに募集したマイバッグ、ポスターの入賞作品を展示。
佐賀市マイバッグ・ ノーレジ袋実施率調査 (10 月 22 日～26 日)	市内スーパー 20 ヶ所において、レジ袋辞退者、マイバッグ持参者の人数計測を実施。
伊万里市リサイクルフェア (9 月 22 日)	環境保全・美化に関する功労者表彰、フリーマーケット、パネル展示等による啓発を実施。
鹿島市街頭キャンペーン (10 月 12 日)	市内スーパー 3 店舗において、マイバッグ持参の呼びかけ、粗品（紙ひも）の配布を実施。
小城市街頭キャンペーン (10 月 16・18・19 日)	市内 3 店舗において、マイバッグキャンペーンチラシの配布、マイバッグ持参率調査を実施。

■ 写真



佐賀市こども環境作品展
手作りマイバッグ



伊万里市リサイクルフェア



鹿島市街頭キャンペーン



小城市街頭キャンペーン



佐賀市街頭キャンペーン



未来さが環境キャラバン
パネル展示



マイバッグキャンペーンチラシ



佐賀県マイバッグ・ノーレジ袋
推進店ステッカー



啓発用パネル

【担当】佐賀県くらし環境本部 循環型社会推進課 3R推進担当 白浜昌子
TEL 0952-25-7078

長崎県

ながさきマイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

長崎県内の住民、事業者、行政が一体となって、レジ袋の削減等に取り組み、ごみの減量化を推進する。

■ 実施主体

長崎県、ながさき環境県民会議

■ 実施期間

平成 24 年 10 月 1 日～10 月 31 日(強化月間)

■ 協力団体

市町及び趣旨に賛同する事業者

■ 主な活動内容

(1) 事業者の取り組み

- キャンペーンへの参加協力(ポスター及びステッカーの掲示)
※ 10月の強化月間に取り組みを行う協力店舗数565店舗

【協力店の取組内容】

- ・レジ袋辞退者に対し、シール、スタンプ等の付与による特典制度実施
- ・レジ袋辞退者に対し、キャッシュバックを実施
- ・レジ袋の有料化実施
- ・チラシでの表示、店内放送、レジ袋不要カードの作成などによる買い物袋持参呼びかけを実施
- ・会計時の声かけ実施
- ・詰め替え商品の販売促進
- ・簡易包装の推進等

- 期間終了後、マイバック持参率及びレジ袋節約枚数の報告

(2) 県及び市町の取り組み

- ながさきマイバッグキャンペーンポスターを賛同事業者、市町等へ配布及び掲示依頼。
- のぼり等の掲示、広報誌やラジオ、ホームページ等を利用した広報の実施。
- 県内各地において、環境イベント時における啓発活動(チラシ、エコバッグの配布等)を実施。

■ トピックス

- エコバッグの寄贈(長崎県産業廃棄物協会 800 枚、
日本公衆電話会長崎支部 3000 枚)

【担当】 大分県生活環境部 地球環境対策課
リサイクル推進班 岩屋



熊本県

熊本県マイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

県民、事業者、行政が一体となってレジ袋の削減に取り組み、ごみの減量化を推進する。

■ 実施主体

熊本県、熊本県ごみゼロ推進県民会議

■ 実施期間

平成24年10月1日～平成24年10月31日

■ 協力団体

各市町村、一斉行動参加店、小中学校、高校、大学等

■ 主な活動内容

- ・キャンペーン期間中に一斉にレジ袋削減を目指した取り組みを行う「一斉行動参加店」の募集
参加店総数 1,052店
- ・啓発ポスターの配布
- ・10月1日から10月31日までの1ヶ月間を強化月間とし、レジ袋の削減を目指した取り組みを実施。



■ トピックス

10月1日の熊本県ごみゼロ推進県民大会にて、「一斉行動参加店」の広報、3Rに関する講演、実践事例の発表・展示等を実施（別添フリーペーパー掲載記事参照）。

■ ポスター

マイバッグキャンペーンの取り組みが広く浸透するように、県見になじみ深い「くまモン」を入れてデザインしました。

【担当】 熊本県環境生活部 環境局 廃棄物対策課 企画調整班 江崎達彦

大分県

マイバッグを持ってお買い物に行こう♪キャンペーン (大分県マイバッグキャンペーン)

■ 目的・趣旨

県民、事業者、行政が一体となってレジ袋の削減等に取り組み、ごみの減量化を推進するため、マイバッグキャンペーンを実施する。

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日

■ 実施主体 大分県、ごみゼロおおいた作戦県民会議

■ 対象地域 県下全域

■ 主な活動内容等

(1) レジ袋無料配布中止の取組

地球温暖化の防止やごみの減量化を目的に、消費者・事業者・行政が協定を締結し、レジ袋無料配布中止によるレジ袋の削減に取り組んだ。(H21.6 から実施)

【活動内容】実施店舗数 食品スーパー等 : 31 事業者 225 店舗
クリーニング : 2 事業者 1 組合 153 店舗



【効果】マイバッグ持参率 : 食品スーパー等 84.8%
クリーニング 99.8%

レジ袋削減枚数 : 7,466,278 枚

CO₂削減量 : 463 トン

ごみ削減量 : 約 75 トン

石油削減量 : 約 137KL

(2) 大分県農林水産祭でのマイバッグキャンペーン

県内最大の展示即売イベントであり、大量のレジ袋が消費されている大分県農林水産祭において、ポスターやチラシでマイバッグの持参を呼びかけ、「環境にやさしいイベント」、「環境にやさしい買い物」の普及啓発を行った。

【活動内容】実施日 : 平成 24 年 10 月 20 日 (土)

～10 月 21 日 (日) (農林部門)

平成 24 年 10 月 27 日 (土) ～10 月 28 日 (日) (水産部門)

実施場所 : 別府市 別府公園 (農林部門)、亀川漁港 (水産部門)

【担当】 大分県生活環境部 地球環境対策課 リサイクル推進班 岩屋

宮崎県

みやざきマイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

ごみ減量化や二酸化炭素排出量削減のため、マイバッグの普及やごみの排出抑制等を呼びかけるキャンペーンを行った。

■ 実施主体 宮崎県

■ 実施期間 10月1日～10月31日

■ 協力団体

宮崎県4R推進協議会、みやざきマイバッグ運動推進コンソーシアム

■ 主な活動内容

- (1) 事業者等に対する支援（参加店舗数 655店舗）
 - ① ポスターの配布 事業者約800枚（その他県庁各課・市町村に配布）

- (2) 啓発イベントの開催
 - ① 日時 平成24年10月12日（金）
 - ② 会場 イオンモール宮崎
 - ③ 内容 マイバッグ等の配布、啓発パネル等の展示

- (3) 地区協議会等に対する支援
 - ① マイバッグの配布 約1,600枚を各地区協議会等に配布

- (4) 広報
 - ① 新聞広告 10月1日 宮崎日日新聞5段
 - ② テレビCM 15秒CM 74本
 - ③ 県庁HP 参加店募集、参加店決定及び取組内容

【担当】 宮崎県環境森林部循環社会推進課 企画・リサイクル担当 岩下
TEL 0985-26-7081 E-mail:iwashita-kentaroh@pref.miyazaki.lg.jp

鹿児島県

鹿児島県マイバッグキャンペーン

■ 目的・趣旨

ごみの排出抑制・減量化・リサイクルの推進を図るための具体的な行動のひとつとして、買物袋に着目し、買い物の際にレジ袋等をもらわず、自ら買物袋を持参する運動を広げることで、ごみの減量化を推進するとともに、広く県民の意識啓発を図ることを目的とする。

■ **実施期間** 平成 24 年 10 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日

■ **実施主体** 鹿児島県

■ 実施内容

期間中にレジ袋の削減等に取り組む一斉行動参加店に県内 702 店舗が参加し、レジ袋辞退者に対するポイント、シール、スタンプ等の特典制度などを実施した。

■ 主な活動内容

- (1) マイバッグキャンペーンの実施
一斉行動参加店の募集（6月4日～7月27日）
- (2) 広報媒体等を活用することにより、消費者や事業者呼びかけを行う。
- (3) 市町村、関係団体等に対し、周知の協力を依頼する。

(啓発内容)

- (1) 県民
 - ・買物袋を持参し、レジ袋等を辞退するよう努める。
 - ・もらったレジ袋等は繰り返し使用する。
 - ・商品購入の際にリサイクル商品や簡易包装商品を選択する。
 - ・不要な包装、過剰包装を辞退する。
- (2) 事業者
 - ・マイバッグキャンペーンの呼びかけを店内放送やレジ周りのPOP表示等で行う。
 - ・チラシ、店内放送など買物袋持参の呼びかけを行う。
 - ・詰め替え商品等の販売を促進し、簡易包装に努める。
 - ・ごみゼロ九州キャンペーンのポスターの掲示を行う。

(実施結果)

期間中にレジ袋の削減等に取り組む一斉行動参加店に県内 825 店舗が参加し、レジ袋辞退者に対するポイント、シール、スタンプ等の特典制度や、買い物袋持参の呼びかけなどを実施した。

【担当】鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課 永野

沖縄県

環境にやさしい買い物キャンペーン

■ 目的・趣旨

県民、事業者、行政が一体となってレジ袋の削減等に取り組み、ごみの排出抑制等を推進する。

■ 実施主体 沖縄県

■ 実施期間 平成24年10月1日～10月31日

■ 協力団体 県内市町村、事業者（スーパー等）、マスコミ

■ 主な活動内容

- ① パネル展示（マイバッグの配布）
- ② ラジオスポットCM放送、新聞、県HP、電光広報塔、による広報
- ③ 市町村、保健所、レジ袋削減協定締結事業者への広報依頼
- ④ ホテル旅館、空港、モノレール等へのポスター掲示依頼

■ トピックス

レジ袋削減協定締結事業者（11社258店舗）におけるレジ袋有料化実施4年後のレジ袋辞退率平均は80.0%

レジ袋辞退率^{※1}の推移

（単位：％）

	店舗名	有料化導入前 ^{※2}	1週間後	※3 H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24 4月	5月	6月	7月	平均
1	JAおきなわAコープ 全店舗	13.9	72.6	79.5	79.0	78.8	79.3	79.3	78.5	77.8	77.5	79.0
2	金秀 全店舗	18.7	72.0	78.4	78.1	77.7	77.0	76.8	76.6	75.7	75.7	77.6
3	沖縄三越豊崎マイキッチン	未把握	83.3	86.3	85.7	83.0	83.1	84.3	83.1	83.9	83.3	84.2
4	サンエー 食品売り場全店舗	26.5	82.4	81.6	79.9	78.7	77.7	77.3	77.1	76.2	76.1	79.0
5	ジミー（那覇店・大山店）	2.4	62.2	74.7	76.5	78.2	77.8	77.2	77.4	75.9	76.3	77.1
6	ユニオン 全店舗	23.0	78.3	79.9	79.6	77.4	76.5	76.5	76.1	75.3	74.9	77.9
7	丸大 全店舗	20.7	75.5	80.6	80.6	80.6	80.4	80.2	80.4	79.7	79.6	80.5
8	リウボウストア 全店舗	未把握	75.4	79.0	78.7	79.0	78.3	77.7	79.5	81.4	80.9	78.8
9	コープおきなわ 全店舗	39.7	84.5	86.1	84.3	82.6	81.5	81.4	81.2	80.4	80.6	83.0
10	イオン琉球 全店舗 (マックスバリュ、ザ ビッグ)	21.2	77.2	79.5	77.2	76.0	75.4	75.3	74.8	75.2	74.7	76.5
11	ドラッグイレブン			84.1	87.6	86.4	86.7	87.1	87.2	87.4	87.1	86.8
	平均		76.3	80.6	80.7	79.8	79.4	79.4	79.3	79.0	78.8	80.0

※1 レジ袋辞退率・（来店者数－使用枚数）÷来店者数 ×100

※2 有料化導入前は、正確な使用枚数等を把握できていないため、参考値となります。

※3 平成20年10月1日レジ袋有料化開始（ドラッグイレブンは平成21年2月1日開始）

■ ポスター



(マイバッグ推進ポスター)



(マイバッグマナー啓発ポスター)

【パネル展写真】



パネル展：10/1(月)～10/5(金)

沖縄県庁 1階 県民ホール

【担当】 沖縄県環境生活部環境整備課 一般廃棄物班 寺町

第3部 流通事業者における実施報告

(掲載 50 音順)

イズミヤ 株式会社	87 -
株式会社 いなげや	88 -
株式会社 エコス	88 -
株式会社 カスミ	89 -
株式会社 川徳	89 -
株式会社 近鉄百貨店	91 -
株式会社 京王百貨店	91 -
株式会社 京成ストア	92 -
株式会社 佐世保玉屋	92 -
株式会社 そごう・西武	92 -
株式会社 タイヨー	94 -
株式会社 大丸松坂屋百貨店	95 -
株式会社 東急百貨店	96 -
株式会社 東武宇都宮百貨店	96 -
株式会社 東武百貨店	96 -
株式会社 ながの東急百貨店	97 -
一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会	98 -
株式会社 ベイシア	99 -
株式会社 阪急阪神百貨店	99 -
株式会社 藤崎	100 -
株式会社 プランタン銀座	100 -
株式会社 三越伊勢丹ホールディングス	101 -
株式会社 山形屋	102 -
ユニー 株式会社	102 -
株式会社 ヨークマート	103 -
株式会社 ライフコーポレーション	104 -
株式会社 良品計画	105 -

イズミヤ 株式会社

— イズミヤエコ月間 —

毎年6月、10月度をイズミヤエコ月間とし、買い物袋持参キャンペーンや ごみの減量（簡易包装の推進）等をお客様に呼びかけを行っており 「環境にやさしい買い物キャンペーン」も同時に展開している。

■ 目的・趣旨 省エネ、省資源をお客様に啓発する

■ 実施期間 10月1日～10月31日

■ 参加店舗数 86店舗

■ 主な活動内容

・メーカーコラボ企画としてハガキで応募してお米や協賛メーカーの景品が当たるキャンペーンを実施

⇒ハガキ応募1件につき5円をイズミヤが資金拠出して宮城県加美町の国内クレジットの購入に充て日本政府に無償譲渡する。

・従業員対象の「東北地方を応援しようキャンペーン」の実施

イズミヤグループの従業員を対象にポイントの寄附を募り、ポイント分の金額を拠出して宮城県の加美町の国内クレジットに充てる。

今回のキャンペーンで約166tの国内クレジットが出来る

・行政・メーカー(花王)、小売のコラボで消費者に省エネ、省資源を啓発
店舗限定で展開

行政：ごみ減量の取組み、マイバッグ持参の取組みのノボリやパンフレットの配布

メーカー：花王のアタックネオや詰め替え商品で省資源や省エネをアピール

小売：場所の提供や自社PBで環境に配慮した商品の展開を行う。



西宮市と花王でコラボ展開写真

行政：ノボリやパンフ

花王：詰め替え各種、アタックネオ本体の展開

イズミヤ：PBの環境に配慮して商品の展開

他に八尾市、京都市等でも展開



吹田市と花王でコラボ展開

行政：ノボリ、吹田市のごみ減量の取組み

花王：詰め替え各種、アタックネオ本体の展開

【担当】イズミヤ株式会社 総務統括部エコロジー推進部 宮川 精慈

株式会社 いなげや

— 環境にやさしいお買物をしましょう —

■ 目的・趣旨

環境省 10 月度 3R 推進月間の趣旨に賛同すると共に、当社が行っているレジ袋削減に向けた活動や店頭での資源回収活動などの環境保全活動に対する御理解をお客様に深めて頂くことを目的としています。

■ 実施期間 2012 年 10 月 1 日（月）～31 日（水）

■ 参加店舗数 127 店舗

■ 主な活動内容

- ・日本チェーンストア協会作成の「レジ袋削減ポスター」の全店掲示によるお客様への啓蒙活動
- ・マイバッグ、マイバスケットの販売の実施によるマイバッグ持参の促進
- ・レジ袋をご辞退頂いたお客様に対する 1 回当たり 2 円のキャッシュバック（値引き）
- ・食品トレイ、ペットボトル、牛乳パックなどの資源物の店頭におけるリサイクル回収

■ トピックス

東京都立川市一斉マイバック運動や（該当店舗）、ヨコハマ 3R 夢プランキャンペーン（該当店舗）、東京都日野市マイバッグ持参運動とレジ袋持参率の調査に積極的に協力し、地域一体となってレジ袋の削減の推進を図っている。

【担当】株式会社いなげや 社長室 環境担当 藤本 義信

株式会社 エコス

— 環境にやさしい買い物キャンペーン —

■ 目的・趣旨

3R 活動推進フォーラムが実施する「環境にやさしい買い物キャンペーン」に当社も参加し、環境保全活動を推進する。

■ 実施期間 通年実施

■ 参加店舗数 64 店舗

■ 主な活動内容

- ・レジ袋削減の取り組み：マイバッグ販売の推進、レジ袋辞退者へのポイント付与。
- ・廃棄物削減の取り組み：「トレイを使わないお肉売場」の展開等。
- ・容器包装リサイクルの取り組み：店頭リサイクルボックスにて食品トレイ、ペットボトルなどを回収、有価物としてリサイクル。
- ・食品リサイクルの取り組み：当社で排出された野菜クズを堆肥化し、その堆肥を使って契約農家にて栽培されたお米を全店舗で販売。
- ・同じく、野菜クズを液体飼料化し、その飼料で肥育された豚を全店舗で販売。

【担当】株式会社エコス 秘書室長（環境責任者）

株式会社 カスミ

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的

お客様、従業員に対する3R活動の推進

■ 実施期間 2012年10月1日～10月31日

■ 参加店舗数 146店舗（カスミ全店）

■ 活動内容

アルミ缶、ペットボトルの店頭回収の推進

右ポスターを店舗インフォメーションボードに貼り

お客様とともに3R運動を展開した。



【担当】株式会社カスミ 業務企画本部 環境社会貢献部 菊地 弘幸

株式会社 川徳

—環境にやさしい買い物キャンペーン（3R推進キャンペーン）—

■ 目的・趣旨

環境に配慮した生活・経済活動の促進を目的に、3R推進月間の10月に、「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施し、「買い物」における3R行動の実践を呼びかける。お客様への訴求、認知がポイントとなるので、POPの活用や接客時のトークでセールスポイントを打ち出し、エコバッグや、環境配慮商品の拡販、お買物袋ひとまとめの声掛けを徹底していく。

■ 実施期間 平成24年10月1日（月）～平成24年10月31日（水）

■ 参加店舗数 2店舗

■ 主な活動内容

①エコ包装の実施

各売場で簡易包装・ノー包装・買物袋ひとまとめの一声励行

②エコバッグの販売強化

エコバッグの訴求POP活用、セールストークによる拡販

③社員購入時のマイバッグ持参を促進

- ・社員自らマイバッグ携帯を習慣化
- ・購入時にはギフトか自家需要かひと声励行し、リユース用買物袋をストックして社員購入時に利用する

④エコライン商品（環境配慮商品）の販売強化、及び販促イベントの実施

- ・各扱い売場でエコライン商品の訴求POP活用、販売強化
- ・オンワード・グリーン・キャンペーン開催（衣料品下取りキャンペーン）
／10月17日～23日（1Fエレベーターホール）
- ・紳士スーツ下取りセール開催／10月25日～30日（7F催事場）

⑤使用済小型家電の店頭回収

- ・盛岡市リサイクルモデル事業により店内で回収BOXにより回収を始める

■トピックス的な事例

- ・エコライン商品(環境配慮商品)の販売強化においては、秋の商品提案から、売場展開、店内放送、ポスターやPOPのほか、新聞やホームページによる訴求と積極的に活動し、10月単月の販売点数では前年比122.5%、売上高で前年比188.7%とキャンペーンにふさわしい実績をあげた。
- ・オンワード樫山との共同企画により、「オンワード・グリーン・キャンペーン」(衣料品の下取り)を行った。昨年も10月に行ったが、今年は1日多い7日間の開催となり、来店客数は1,372名、衣料品引取点数は7,344点であった。また女子の冬用制服更新のため、オンワードブランドの旧制服をグリーンキャンペーンに下取りをしてもらい、3Rの推進を行った。

■ その他



カワトク・エコライン(環境配慮商品)の新聞掲載



オリジナルエコバッグの販売



オンワード・グリーン・キャンペーンのチラシと
会場の様子



【担当】株式会社川徳 CSR室 経営品質・ISO推進担当 和野恵

株式会社 近鉄百貨店

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨

環境に配慮した生活・経済活動を促進することにより、地域レベルでの循環型社会の形成を図ることを目的として各自治体により毎年実施されている本キャンペーンに、本年度も協力します。

■ 実施期間 平成24年10月1日（月）～10月31日（水）

■ 参加店舗数 12店舗

■ 主な活動内容 毎月5日を「スマートラッピングの日」として活動していますが、本キャンペーンに協力するにあたり、「スマートラッピングの日」以外の日も「簡易包装」、「買い物袋の持参」にご協力いただけるよう、お客様へのお声かけ、ご対応を行いました。

- ① キャンペーンポスターを掲出し、「簡易包装」、「買い物袋の持参」について店内放送を利用して、お客さまへ本キャンペーンへのご協力の呼びかけを実施。
- ② 簡易包装の推進、マイバッグのご利用促進などについて積極的に取り組むよう、朝終礼を利用し、従業員への再周知を徹底。

【担当】 株式会社近鉄百貨店 総務本部CSR推進部西川由貴

株式会社 京王百貨店

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨

当社は「人のよろこびを大切に」をモットーに、人と環境にやさしい企業を目指して3R(リデュース：ごみの発生自体を減らそう、リユース：繰り返し使おう、リサイクル：資源として再利用しよう)を推進している。

新宿区3R推進協議会の周知イベントに参加し、新宿発「エコな暮らし」の訴求活動を行った。

■ 実施期間

イベント参加・・・9月16日

その他・・・通年

■ 主な活動内容

【イベント】

- ・JR新宿駅西口広場イベントコーナーにて婦人服リサイクルブティック「With you」の紹介パネルの展示とビラの配布
- ・抽選用景品の出品（オリジナルマイバッグ）
- ・当社3Rの昨年度実績と本年度計画の報告

【その他】

- ・日本百貨店協会「スマートラッピングポスター」の店内エスカレーターサイドへの掲出
- ・お客様のご要望に沿った包装形態を行う（自家需要は簡易包装など）
- ・オリジナルマイバッグの販売

【担当】 株式会社京王百貨店 総務部 総務・コンプライアンス担当 鈴木 光



株式会社 京成ストア

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨

レジ袋削減のための「マイバック持参運動」や「トレー、ペットボトル他の店頭回収」等の取り組みをお客様に周知するとともに従業員の意識向上を目的とする。

■実施期間 平成24年10月1日～10月31日

■参加店舗数 27店舗

■主な活動内容

- ・レジ袋削減ポスターの掲示、店内放送及びレジ精算時におけるマイバック持参の呼びかけ。また、レジ袋辞退のお客様にエコポイントを2ポイント付与。
- ・量り売り、バラ取り販売及びノントレーの袋詰め販売の実施。
- ・トレー、ペットボトル、牛乳パック等の店頭回収の実施。

【担当】株式会社京成ストア 総務部 総務人事担当 小嶋 治

株式会社 佐世保玉屋

—簡易包装の推進—

■ 目的・趣旨

特にギフトシーズンの期間に環境にやさしい簡易包装の推進に対しお客様の協力と理解を求め、ひいては年間を通じ浸透させるため。

■実施期間 7月1日～8月15日(中元期) 11月25日～29日(歳暮期)

■参加店舗数 2店舗

■主な活動内容

店内放送での案内やチラシ掲載、ポスターの設置を行い、簡易包装への協力推進および接客時のお願いを実施。

■トピックス的な事例

本人お届けの進物以外の代配品は、ほぼ簡易包装になった。

【担当】株式会社佐世保玉屋 営業推進部 杉坂 巧

株式会社 そごう・西武

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

(従業員へは、10月環境強化月間として周知)

■ 目的・趣旨

全国的に環境にやさしい買い物キャンペーンが実施される10月を環境強化月間と位置付け、従業員の環境意識の向上を図るとともに、お客さまに対する「環境・社会貢献活動の見える化」を強化する。

■実施期間 平成24年10月1日～平成24年10月31日

■ 参加店舗 26店舗

■ 主な活動内容

① グリーンラッピングの展開強化

- ・POP及び見本の掲出

※グリーンラッピング

ギフトをご注文の際、「地球環境を考える」というメッセージもあわせて贈ることのできる社会貢献型ラッピング。リーフマスコット付リボンを100円（税込）でご購入いただき、1件につき50円が植樹活動に寄付されます。80件で1本の植樹につながります。



② 環境関連商品のクローズアップ

- ・第三者機関の審査のもと、独自に設けた基準を満たした環境配慮商品9品目の展開強化
- ・環境POP、メッセージカードの活用

③ 3Rの展開強化

- ・量り売り、バラ売り展開強化
- ・レジ袋辞退カードの活用
- ・エコバックの展開強化
- ・子ども靴下取りコーナー告知強化

※子ども靴下取り 公益財団法人ジョイセフが実施するザンビアの子どもたちに靴を贈るプロジェクトに取り組んでいます。お客さまからご不要になった子ども靴をお預かりし、ザンビアの子どもたちに届けます。



④ 店内放送による「買い物における3R行動の実践」呼びかけ

(1日3回程度)

⑤ 「環境・社会貢献の取り組み」リーフレットの配布

⑥ 日本百貨店協会「スマートラッピング」の強化

- ・ポスター掲示（継続実施）

※スマートラッピング

日本百貨店協会が提唱する「マイバッグ運動」
「ご用途に合った適正包装などの取組み」

⑦ 地域行政・諸団体等とのタイアップイベント開催



■ トピックス的な事例

① そごう神戸店「マイバッグ作品展」開催

10月3日（水）～10月17日（水）、神戸店では、神戸市とタイアップし、市内の小中学生がつくったマイバッグの作品展示会を開催しました。衣服を再利用したものや保冷バッグに仕上げたものなど、工夫を凝らした174点の作品を展示。作品の他、そごうのエコバック、レジ袋削減協定締結事業者のマイバッグも展示し、お客さまにマイバッグのご利用促進を呼びかけました。



② 西武八尾店「いきいき八尾環境フェスティバル2012」開催

10月28日(日)、八尾店では、八尾市・大阪経済法科大学と共催で「いきいき八尾環境フェスティバル2012」を開催しました。日頃環境活動を行っている市民や企業が中心となって、環境に関する啓発活動を行うことにより、多くの方に環境について考えていただく機会を創出することが目的です。会場は、八尾店屋上・8階ホール、アリオ八尾交通広場、大阪経法大キャンパス。様々な展示やイベントにあいにくの雨天にも関わらず、6,000名を超える方が参加。お客さまから『家族みんなで環境のことを考える良い機会となった』という声をいただきました。



【担当】株式会社そごう・西武 CSR 推進室 中島 秀幸

株式会社 タイヨー

—エコポイントキャンペーン—

■ 目的・趣旨

環境・社会貢献活動として、レジ袋削減運動を実施しております。その一環として、レジ袋の削減を推進するためにお客様へマイバッグをお持ち頂き、何よりもお客様のご理解とご協力が欠かせません。より多くのお客様に参加していただく為にも、エコポイントキャンペーンに取り組みたいと考えます。

■ 実施期間 平成24年10月1日～10月31日

■ 参加店舗数 91店舗 (2012.10.31時点)

■ 主な活動内容

- ① ポスター掲示やワッペン着用によるマイバッグ持参運動
- ② お客様へのマイバッグの呼びかけと簡易包装の推奨
- ③ 従業員向けの社内掲示

■ トピックス的な事例

(従業員のレジ袋削減に向けた活動)

お客様に向けたマイバッグ持参ご協力の案内のほか、従業員向けにマイ箸持参の呼びかけを実施致しました。

■ ポスター画像など (マイバッグステーション)

マイバッグ持参率を店内に掲示しお客様への啓蒙活動に役立てております。

【キャンペーンワッペン】

チェッカー担当者はワッペンを着用し
お買物の際のお客様への呼びかけを行いました。



【担当】株式会社タイヨー 店舗運営部お客様相談室室長 飯隈 忠喜

株式会社 大丸松坂屋百貨店

— ペットボトルキャップ回収キャンペーン —

■ 目的・趣旨

ペットボトルキャップの分別回収によりリサイクルを推進するとともに、協力団体を通してその売却収益金を NPO 法人世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄付し、世界の子どもたちにワクチン支援に役立たせる活動。

■ 実施期間 2011 年 11 月より継続実施中

■ 参加店舗数 大丸、松坂屋百貨店 全店

■ 主な活動内容



大丸、松坂屋各店では、地域の皆さま、お客様のご協力をいただき、「ペットボトルキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けよう！」の取り組みを推進しています。

ペットボトルキャップのリサイクルの推進による CO2 の排出量の削減に加え、協力団体を通じてのワクチン支援にも繋がっています。

左) 店頭に設置された大丸松坂屋のキャラクター「さくらパンダ」の分別回収BOX

下) 環境教育の一環として静岡市立伝馬町小学校にキャップ回収活動について説明に伺いました (5/10)。地元の静岡新聞紙上で紹介されました (5/11)。

■ トピックス的な事例

地域への環境教育の一環として、店舗近隣小学校のペットボトル回収活動の取り組みをバックアップしています。

集まりましたペットボトルキャップは、NPO法人「Re ライフスタイル」を通じてリサイクル協力会社へ売却し、その対価を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」へ全額寄付し、後日ワクチンが途上国の子どもたちに届けられることとなります。

2012年10月度の全店でのペットボトルキャップの回収個数は約 146 万個、取り組みを始めてからの累計では約 3,651 万個のキャップを回収させていただきました。これはポリオワクチンに換算いたしますと約 6 万 9 千人分となります。



【担当】株式会社大丸松坂屋百貨店本社
CSR 推進室社会活動推進担当 岡田康夫

株式会社 東急百貨店

—エコポイントダブルプレゼントキャンペーン—

■ 目的・趣旨

環境省・経済産業省・3R活動推進フォーラム主催「環境にやさしい買い物キャンペーン」の趣旨に賛同し、参加・協力する。

■ 実施期間 10月1日（月）～31日（水）

■ 参加店舗数 8店舗

■ 主な活動内容

レジ袋不要とお申し出いただいたお客様を対象に実施しているエコスタンプの捺印を、期間内に限り通常の2倍とする。

■ トピックス的な事例

実施によりエコスタンプカードの回収実績が、通常月3,500枚程度のところ6000枚以上となった。

【担当】株式会社東急百貨店 総務部環境担当 三浦光則

株式会社 東武宇都宮百貨店

—環境にやさしい買い物キャンペーン 月間—

■ 目的・趣旨 容器包装使用量の削減による環境負荷の低減

■ 実施期間 平成24年10月1日～10月31日

■ 参加店舗数 2店舗

■ 主な活動内容

- (1) お客様へのエコ包装のご案内
- (2) 生鮮総合レジでのマイバッグスタンプカード等のご案内
- (3) 店内放送による呼びかけ
- (4) ポスターの掲出（スマートラッピング）

【担当】株式会社東武宇都宮百貨店 総務部業務監理課 庄司秀一

株式会社 東武百貨店

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨

ごみを少なくし、エコバッグのご紹介などを通して、環境に配慮したライフスタイルをご提案する。

■ 実施期間 10月1日（月）～10月31日（水）※一部は年間活動も有り

■ 参加店舗数 2店舗（池袋店・船橋店）

■ 主な活動内容

- ①店内放送（お客様への呼び掛け・1日数回）
- ②レシート印字
『あなたのお買物が地球を守る環境にやさしい買物キャンペーン』
- ③立看板掲出（船橋店正面入口）
- ④「エコ包装マニュアル」を全販売員に配布（常時携帯）
- ⑤東武オリジナルエコバッグの販売
（池袋店7ヶ所、船橋店3カ所で1年を通して販売）
- ⑥「スマートラッピング」（エコ包装）の推進
「毎月5日はスマートラッピングの日」
- ⑦ホームページ「環境・社会への取り組み」で、環境活動及び環境配慮型商品の紹介
- ⑧周知徹底 月例会議で廃棄物排出状況及び容器包装の使用量等を報告（部門別）



■ トピックス的な事例

- ・平成24年度3R推進キャンペーン
「豊島区役所本庁舎ロビーパネル展」に参加
（10月1日～10月12日）（池袋店）
当社のテーマ「地球環境保全の取り組み」

- その他 買い物キャンペーン実施のご案内と
オリジナルエコバッグのご紹介看板設置（船橋店）



【担当】株式会社東武百貨店池袋本店総務部業務監理担当マネージャー 能瀬雄一

株式会社 ながの東急百貨店

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨

環境に配慮した生活・経済活動を促進することを目的として、お客様への環境への取り組みを周知し、併せて従業員への意識啓発をはかる。

■ 実施期間 2012年10月1日～10月31日

■ 参加店舗数 1店舗

■ 主な活動内容

- (1) 消費者に対し、「マイバッグ持参」「環境配慮型商品の購入」「簡易包装への協力」「はかり売り等による販売」等について、以下のような方法での呼びかけをする。
 - ・キャンペーンポスターの掲示、チラシの配布、店内放送、レジでの呼びかけ
 - ・買い物袋持参者へのスタンプ押印や特典の実施
 - ・懸賞実施の告知（長野県独自の取り組み）に協力環境に配慮した商品についている環境ラベルを5枚切り取り、応募はがきに貼付して応募して頂き抽選で景品を贈呈する。（抽選で60名に「MOTTAINAI×ROOTOTE サーモキーパー2way」を贈呈）
- (2) 環境配慮型商品の積極的な販売
- (3) 簡易包装の推進（御客様への呼びかけ）
- (4) はかり売り等による販売

【担当】株式会社ながの東急百貨店 総務部 総務・環境・管財 江上 淳

一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

- 目的・主旨 レジ袋の削減に取り組む。
- 実施期間 平成24年10月1日(水)～10月31日(水)
- 参加店舗数 48,369店舗(平成24年10月末現在)

会社名	店舗数
国分グロースーズチェーン(株)	126店舗
(株)ココストア	750店舗
(株)サークルKサンクス	6,272店舗
(株)スリーエフ	699店舗
(株)セイコーマート	1,143店舗
(株)セブン-イレブン・ジャパン	14,627店舗
(株)デイリーヤマザキ	1,637店舗
(株)ファミリーマート	9,160店舗
(株)ポプラ	708店舗
ミニストップ(株)	2,151店舗
(株)ローソン、(株)ローソン富山、(株)ローソン沖縄、 (株)九九プラス	11,096店舗
合計	48,369店舗

■ 主な活動内容

レジ袋削減の取り組み

- ①お客様に対する声かけの実施
- ②適正サイズのレジ袋使用の徹底
- ③協会統一ポスターを全店舗に掲示し、お客様へのPRを実施等



【担当】一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 CSR推進部 島村 真司

株式会社 ベイシア

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨

ごみの減量、地球温暖化防止のため、マイバッグの持参を奨励

■ 実施期間 24年10月1日～10月30日

■ 参加店舗数 101店舗

■ 主な活動内容

- ・店内放送によるマイバッグ持参の呼びかけ
- ・レジ精算時、マイバッグ持参の意思表示をされていないお客様に対して「袋はご利用ですか」の声掛け実施

■ トピックス

レジ袋辞退率（全店平均）

【キャンペーン実施前】平成24年8月度 31.8%

【キャンペーン実施期間】平成24年10月度 32.7%

⇒全店平均のレジ袋辞退率が、0.9ポイント上昇した

【担当】株式会社ベイシア 販売部業務システムグループ担当 中村 光晴

株式会社 阪急阪神百貨店

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨 ゴミの削減と資源の節約のため、適正包装をお客様によびかけ

■ 実施期間 平成24年10月1日～10月31日

■ 参加店舗数 13店舗

■ 主な活動内容

- 店頭にてお客様に 簡易包装など適正包装ご協力の呼びかけ
- ・従業員からご自宅用かどうかお聞きして簡易包装の了承を得て実施
 - ・店内放送でご協力のよびかけ
 - ・店頭で百貨店協会統一のポスターを掲出



日本百貨店協会統一ポスターを店頭にて掲出

【担当】株式会社阪急阪神百貨店 総務室 総務部 木下京子

株式会社 藤崎

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨

環境省の考えに当社も賛同し、環境保全への取り組みとして、マイバッグでのお買い物や簡易包装を促進する取り組みを行う

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日（月）～10 月 31 日（水）

■ 参加店舗数 1 店舗

■ 活動内容

○簡易包装を徹底する。ご自宅用には簡易包装をすすめる。

○接客・販売時に、手付き袋のおまとめやスマートラッピング等の呼びかけを行なう。

・ひとつの袋にまとめて入れることができるように、手付き袋等の間口にシールを貼り付けない。

・不要な手付き袋の 2 枚重ねをしない。

・「お持ちの袋にお入れしてよろしいですか」と一声かける。

○当社オリジナルエコバッグ（500円）のご使用をすすめる。

【担当】株式会社藤崎 総務担当 宮澤

株式会社 プランタン銀座

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

■ 目的・趣旨

循環型社会の構築のため、環境に配慮した生活・消費行動を促すことを目的とした、環境省・経済産業省・3R 活動推進フォーラム・日本百貨店協会による当キャンペーンに参加。3R 活動の推進を目的に、地球にやさしいお買い物を通じ、容器包装の削減と環境保全、社会貢献活動への協力推進を図る。

■ 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日～10 月 31 日

■ 参加店舗数 1 店舗

■ 主な活動内容

①店内放送により、10 月は「環境にやさしい買い物キャンペーン」推進月間であることを呼びかけた。内容としては、リユース・リデュース・リサイクルの推進と使い道にあった包装をお選びいただくエコ包装のおすすめ、スマートラッピングや簡易包装、マイバックご持参へのご理解・ご協力の呼びかけを実施。

②日本百貨店協会・スマートラッピングのポスターのエスカレーターサイドへの掲出。
(10/1～10/31)レジカウンターへのスマートラッピング POP 掲出。

③ファッション雑貨売場でのマイバックの販売。

【担当】株式会社プランタン銀座 業務推進部管財 甥杉 和彦

株式会社 三越伊勢丹ホールディングス

—環境にやさしい買い物キャンペーン月間—

■ 目的・趣旨

国が環境にやさしい消費者行動を呼び掛けする「環境にやさしい買い物キャンペーン」に連動し、10月を「環境にやさしい買い物キャンペーン月間」と位置づける。

実施期間中は、日本百貨店協会が提唱し、当社グループも日頃より積極的に推進している「スマートラッピング」へのお客さまのご理解を更に広め、マイバッグ（エコバッグ）のご持参を促し、レジ袋や紙製包装材などの使用量を削減することで環境負荷の軽減を図る。

■ 実施期間 2012年10月1日（月）～10月31日（水）

■ 参加店舗数 全国26店舗

丸井今井札幌本店、札幌三越、函館丸井今井、仙台三越、新潟三越、新潟伊勢丹、三越日本橋本店、三越銀座店、三越千葉店、伊勢丹新宿本店、伊勢丹立川店、伊勢丹松戸店、伊勢丹浦和店、伊勢丹相模原店、伊勢丹府中店、静岡伊勢丹、名古屋三越栄店、名古屋三越星ヶ丘店、ジェイアール京都伊勢丹、JR大阪三越伊勢丹、広島三越、高松三越、松山三越、福岡三越、岩田屋本店、岩田屋久留米店

■ 主な活動内容

①スマートラッピング推進のお願い（以下の原稿）を、2時間に1回を目安として店内放送しました。

「毎度ご来店くださいますて、ありがとうございます。お客さまに、お知らせいたします。

10月は、『環境にやさしい買い物キャンペーン月間』です。ただいま＜三越・伊勢丹＞では、ご自宅使い商品の包装の省略や、お買上げ品を一つの袋にまとめさせていただくなど、

『スマートラッピング』へのご協力をお願いしております。

包装や手さげ袋がご不要な場合は、どうぞ係員にお申し付けください。

地球環境保護のため、皆さまのご協力をお願いいたします。」

②日本百貨店協会が制作したスマートラッピングのポスター

（緑地にカンガルーのデザイン）を店内、駐車場等に掲出しました。

③全店で、三越仕様、伊勢丹仕様のマイバッグ（エコバッグ）を販売しています。（通年）

④食品生鮮マーケットのレジ周りに、「レジ袋不要札」を設置し、ご辞退を促しています。（通年）

【担当】株式会社三越伊勢丹ホールディングス

管理本部業務部施設管財担当 施設環境マネージャー 小川 達夫

株式会社 山形屋

—環境にやさしい買い物キャンペーン月間—

■ 目的・趣旨

ごみの排出抑制・減量化・リサイクルを推進するための具体的な行動の一つとして、日本百貨店協会の推進する「スマートラッピング」を呼びかけ、用途に合わせた包装や手提げ袋の選択およびマイバッグの推進を行うことで、ごみの減量化を推進するとともに、お客様をはじめ従業員一人ひとりの意識を高揚させることを目的とする。

■ 実施期間 平成24年10月3日(水)～10月31日(水)

■ 参加店舗 鹿児島県内の百貨店グループ3社
(株)山形屋・(株)川内山形屋 (株)国分山形屋

■ 主な活動内容

- ① 店内放送でお買い物キャンペーン実施の呼びかけを行った。
- ② 「レジ袋（または手提げ袋）はお持ちですか？」
「ご一緒させていただいてもよろしいでしょうか？」のお声かけを行った。
- ③ 詰め替え商品・簡易包装の販売を促進
- ④ マイバッグ販売箇所にはPOPで訴求を行った。



【担当】株式会社 山形屋 総務部環境対策担当 船元 麻美

ユニー 株式会社

—マイバッグキャンペーン—

■ 目的・趣旨

地球温暖化防止と廃棄物削減のために、レジ袋削減のキャンペーンを実施した。

■ 実施期間 10月1日～11月30日

■ 実施店舗数 43店舗（非有料化店舗）

■ 主な活動内容

集まったポイントに応じてマイバッグと交換できる「マイバッグキャンペーン」を実施した。

【担当】ユニー株式会社 環境社会貢献部 松井



株式会社 ヨークマート

—世界に1つだけのマイバッグを作ろう！(レジ袋辞退率UP強化月間) —

■ 目的・趣旨

CSR活動について、明確なメッセージの発信が必要であり、環境問題についても、どういう取り組みをしているかを、お客様にもわかりやすく、広報活動していく事が大切だと考えます。

本業(食品SM)を通じた、社会貢献として、レジ袋の削減、CO2削減、電気使用量の削減に取り組んでまいります。

■ 実施期間

2012年10月1日～11月30日

■ 実施店舗数 全店 71店舗
(マイバッグイベントは15店舗で先行)

■ 主な活動内容

今回は、小学生以下の子供達に、自分でデザインした、マイバッグを作成して、楽しんでいただく事で、家族も交えて、マイバッグへの啓蒙を促す。又、全社をあげて、レジ袋辞退率UPキャンペーンも、同時進行で実施。レジ袋削減による、CO2削減等、環境問題を考える。



結果報告

マイバッグイベント(15店舗)

週末のイベント企画として、店舗特設コーナーにて実施。布製の無地の買い物バッグに特製のクレヨンで、自分の好きな絵、似顔絵、などを、描いてもらい、アイロンを当て完成。自分だけの、「世界に1つだけのマイバッグ」を、お持ち帰りいただきました。(上写真)

レジ袋辞退率UP キャンペーン (71店舗)

毎週、全店、週別で、レジ袋辞退率を算出して、全店舗、本部に数値状況を配信。情報を共有、店舗では、数値をグラフ化して、店内、店舗食堂に掲示、各店舗の状況が見える化を実施。お客様にもご覧いただきました。(現在も継続中)

各店の取り組み



サッカー台へ掲示



レジへの掲示



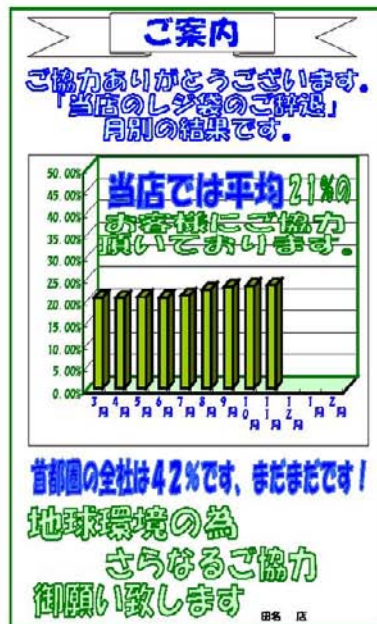
辞退率



社員食堂へ掲示



辞退率グラフ



【担当】株式会社ヨークマート 人事総務室総務グループ 花岡 義憲

株式会社 ライフコーポレーション

—環境にやさしい買い物キャンペーン—

- 目的・趣旨 当社がすすめているマイバッグ持参運動や包装紙・ラップの削減等の取り組みに加えて、「環境にやさしい買い物キャンペーン」の趣旨に賛同し、参加・協力する。
- 参加店舗数 231 店舗
- 実施期間 平成 24 年 10 月 1 日～10 月 31 日
- 主な活動内容
 - 大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課作成のポスターを大阪府内の 102 店舗で掲示。
 - 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課作成のポスターを兵庫県内の 12 店舗で掲示。
 - レジ袋ご辞退のお客様にエコポイントを 2 ポイント付与。
 - 店内放送・ホームページによるレジ袋削減の呼びかけ。マイバッグの販売。

【担当】株式会社ライフコーポレーション社会・環境推進部 足立 千恵

株式会社 良品計画

—FUKU-FUKU プロジェクト—

■ 目的・趣旨

FUKU-FUKU プロジェクトは、日本環境設計株式会社が保有する、綿繊維をバイオエタノールとして再生するという新しい技術を中心とした繊維製品の100%リサイクルを目指す活動です。良品計画は開始当時から参画しており、2年目となる2011年での実施では、無印良品の衣料品のほか、タオル・シーツなどの生活雑貨の一部も対象に拡大。

■ 実施期間 2012年9月28日～10月9日

■ 参加店舗数 無印良品 全国300店舗

■ 主な活動内容 お客様向けの店内放送 従業員向けの社内掲示

- ・ A) 全国の主要都市にて実施した、折込チラシへの掲載 → 9/28 (350万部)
- ・ B) 店頭でのポスター掲出 (B1)
- ・ C) ホームページにてプロジェクト実施をリリース



■ トピックス

京都市役所企画「KYOTO エコマネー」にFUKU-FUKU プロジェクトで参加

「KYOTO エコマネー」という市役所が推奨するリサイクル活動に無印良品は賛同し、企画の特性から「FUKU-FUKU プロジェクト」で参加が可能と判断し、上記同期間中、京都市内の無印良品5店舗は市民の皆様からのリサイクル品の回収拠点として参加しました。(回収対象品、運営や方法などは、全てFUKU-FUKU プロジェクトと同じ)

<http://www.kyotoecomoney.jp/>



【担当】株式会社 良品計画企画室環境広報担当 柵山瑞妃

第 4 部 資料編

平成 24 年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」への協力依頼について	107 -
平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施方針	108 -
平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施意向について	110 -
環境にやさしい買い物行動の例	111 -
ポスターデザイン、バリエーションデザインについて	112 -
平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』への協力依頼について	113 -
平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』趣旨書	114 -
参加申込書	117 -
平成 24 年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」参加流通事業者等	118 -
平成 24 年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施報告書提出について	119 -
キャンペーン用ポスターデータの作成について	121 -

平成 24 年 8 月 6 日

各都道府県

「環境にやさしい買い物キャンペーン」ご担当者様

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室

平成 24 年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」への協力依頼について

循環型社会形成の推進につきましては、平素から格別のご協力を賜り、感謝申し上げます。

『環境にやさしい買い物キャンペーン』は、環境に配慮した生活・経済活動を促進することを目的として、平成 12 年度に東京都をはじめ 14 都府県による共同キャンペーンとして開始され、現在は、ほぼ全ての都道府県が参加したところであり、自治体における取組が一層拡大しているところです。これらの状況を踏まえ、環境省において全国参加自治体の取りまとめを実施することとしています。

つきましては、「平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施方針」（添付資料 2）をご覧頂くとともに、本キャンペーンの実施意向につきまして、**「平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施意向について」**（添付資料 3）をご記入の上、以下の提出先宛にメールにて返信してください。

なお、本キャンペーンは、各都道府県独自の取組みを尊重しつつ、都道府県間で連携できるものは共同実施し、全国的な統一感を保っていきこうという基本方針のもとで展開しております。

また、本キャンペーンの実施主体は環境省、経済産業省、3R 活動推進フォーラムです。

※買い物キャンペーンの宣伝方法について本年は、まだ未定で 9 月上旬に受託業者が企画した内容になります。宣伝方法はポスターかどうかわかりません。

しかし、日程的に間に合わないので、申し訳ありませんが、**今年度は去年のポスター（23→24 年度）を使うか、自治体独自のポスターに「こまめちゃん」を添付するなりして使用**してください。

ただ、**「こまめちゃん」自体のデザインは著作権に違反するので、編集、加工はしない**ください。

※「こまめちゃん」デザインの電子データが必要な場合は下記までご連絡ください。

【提出先】

提出期限：平成 24 年 8 月 31 日（金）

環境省廃棄物・リサイクル対策部

循環型社会推進室 霜田

T E L : 03-5521-8336 (直通)

F A X : 03-3593-8262

E - M a i l : KOJI_SHIMODA@env. go. jp

平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施方針

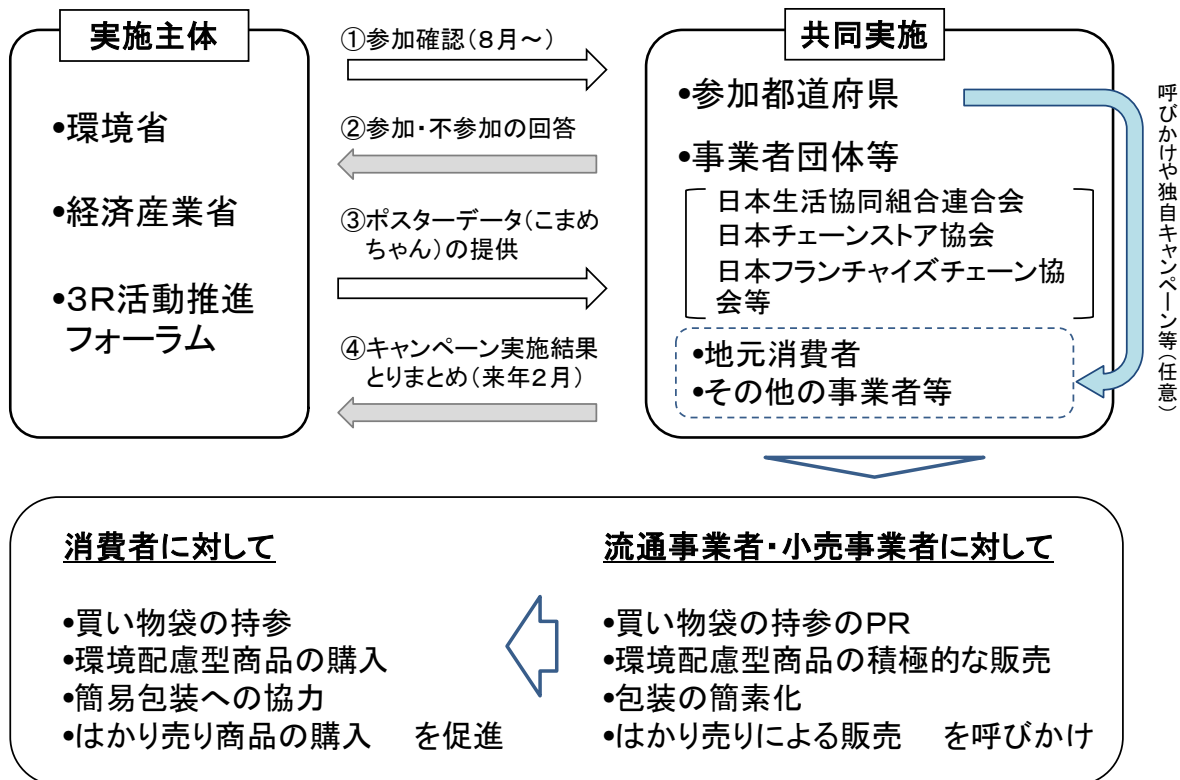
【目 的】

循環型社会形成推進基本法（平成 12 年法律第 110 号）に基づく第 2 次循環型社会形成推進基本計画（平成 20 年 3 月閣議決定。以下「循環基本計画」という。）において、「循環型社会の構築には国民一人一人に循環に配慮した持続可能なライフスタイルへの変革が重要」であり、それを実現するための国の取組として、地方公共団体等の各関係主体と連携を図りながら環境教育等を総合的に推進することとされております。

また、平成 24 年 3 月に閣議報告がなされた循環基本計画の進捗状況の第 4 回点検結果では、循環基本計画の取組指標に関する目標「循環型社会形成に向けた意識・行動の変化（※）」について、ごみ問題への意識については、「ごみ問題に関心がある」との回答率は 81.2%と高いレベルにあるものの、「使い捨て製品を買わない」、「リサイクル製品を積極的に購入している」といった具体的行動については低い回答率のものも見られ、国民の高い意識を実際の行動につなげるため、消費の実態をより一層把握した上での行動につながる情報発信も引き続き重要とされたところです。

これらを踏まえ、消費者、事業者（主として流通業）、行政、消費者団体、NPO等の連携による地域活動を推進し、国民に環境に配慮した消費行動を促すことにより、地域レベルでの循環型社会の形成を図るため、本年度も引き続き「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施することとします。

【実施体制】



【実施期間】

平成24年10月1日～平成24年10月31日

【環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部の実施内容】

- 各都道府県の独自性を尊重しつつ、全国的な統一感を保つため、経済産業省、3R活動推進フォーラムと連携して、以下を実施します。
 - ・全国組織等との連絡調整（流通事業者への協力要請等）
 - ・キャンペーン実施に向けた参加都道府県との連絡調整（実施内容等の調査、とりまとめ等）
 - ・普及啓発資材の作成・配布（統一ポスターデザイン等の作成・配布（電子媒体））
 - ・PR活動（記者公表、HPへの掲載、政府広報を通じてのPR等（9月～10月））
 - ・キャンペーンの実施結果のとりまとめ（平成25年2月頃）
- 各都道府県におかれましては、本キャンペーンにご賛同いただき、国が呼びかけを行う事業者団体に所属していない地元事業者への呼びかけや、国の取組との整合性を保ちつつ独自のキャンペーンの実施など、取組の促進をいただきたく、お願い申し上げます。

(参考)

【平成23年度の都道府県等の参加状況】

①参加都道府県

46都道府県が参加

②参加流通事業者数

全国で68社、47,982店舗

【提出期限】平成 24 年 8 月 31 日(金)

【提出先】環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

霜田 宛

FAX:03-3593-8262

E-mail:KOJI_SHIMODA@env.go.jp

平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』実施意向について

下記の I 及び II については、全ての都道府県においてご回答をお願い致します。
また、Ⅲ及びⅣについては、Ⅱで「1. 実施する」又は「3. 検討中」とご回答頂いた
都道府県のみご回答をお願いいたします。

記

I 連絡先

都道府県名	
部 課 名	
担 当 者 名	
T E L	
E - m a i l	

II 平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』への実施意向について、
該当番号を回答欄に記入して下さい。

1. 実施する 2. 実施しない 3. 検討中 回答_____

III 実施される場合の実施主体名

--

IV 実施される場合のキャンペーンの名称

(昨年度ご登録頂いた名称は、添付資料 4 を参照下さい)

--

V その他ご意見等 (実施方針(素案)に対するご意見がございましたら、こちらにご記入いただいても結構です。)

--

環境にやさしい買い物行動の例

3Rの分類	行 動	説 明
リデュース	マイバックの使用	商品購入時にレジ袋を辞退してマイバックを使用する
	過剰包装の辞退	不要な物品包装を辞退したり、簡易包装にしてもらう
	長寿命(ロングユース)製品の購入	一般の製品よりも品質がよく、長い年月使用できる製品を購入する
	省資源・省エネ製品の購入	製造において使用した資源が少ない製品や省エネ製品を購入する
	必要十分量の購入	量り売り等を利用し、食料品等を必要な量だけ購入する
	詰め替え用商品の購入	洗剤ボトル等の容器入りの商品ではなく、詰め替え用商品を購入する
	消費期限や賞味期限が先に来る食品の購入	消費期限や賞味期限が先に来る食品を購入することにより、食品廃棄ロスを減らすことにつながる
	マイボトル、マイタンブラーの使用	カフェや給茶スポット等でマイボトル、マイタンブラーを使用する
	マイ容器の使用	購入時に食品トレイや個別包装等を断り、持参したマイ容器に入れてもらう
	リユース	古着、古本の購入
リターナブルびん入り商品の購入		ワンウェイびんではなく、再使用できるリターナブルびんに入った商品を購入する
リサイクル	リサイクル製品の購入	リサイクルされた原材料をもとに製造された製品を購入する
他の環境行動	低環境負荷製品の購入	製造時に発生する環境負荷が低い製品を購入する
	地域で生産された商品の購入	地域で生産した商品を購入することで、商品の輸送に要するエネルギーを抑制することができる
	旬の食品の購入	季節の旬の食品を購入する
	買い物時に自転車や徒歩、公共交通機関を利用	自家用車の代わりに自転車や徒歩、公共交通機関を利用することでCO2の発生抑制につながる

ポスターデザイン、バリエーションデザインについて

○ポスターデザイン、統一デザイン及びバリエーションデザインの活用

環境省では、貴社の広報媒体やチラシなどで、本キャンペーンに参加していることのPR等に活用していただけるように、政府広報キャラクターを用いたポスターデザイン、ポスターデザインと同一キャラクターによる統一デザイン及び異なった表情、ポーズのバリエーションデザインの電子データをご用意しております（下図は前年度版）。

今年度は去年のポスター（23→24年度）を使うか、自治体独自のポスターに「こまめちゃん」を添付するなりして使用してください。

「こまめちゃん」自体のデザインは著作権に違反するので、編集、加工はしないでください。



こまめに買い物袋を持ち歩きましょう



包装はできるだけ少ないものを選びましょう。



容器は再使用できるものを選びましょう。



長く使えるものを選びましょう。



資源やエネルギーを浪費しないものを選びましょう。



再生品を選びましょう

各 位

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室
リサイクル推進課

平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』への協力依頼について

貴社におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

『環境にやさしい買い物のキャンペーン』は、環境に配慮した生活・経済活動を促進することを目的として、平成 12 年度に東京都をはじめ 14 都府県による共同キャンペーンとして開始され、現在は、ほぼ全ての都道府県が参加したところであり、自治体における取組が一層拡大しているところです。これらの状況を踏まえ、環境省において全国参加自治体の取りまとめを実施することとしています。(今年も 47 都道府県への呼びかけを、現在実施しております。)

本キャンペーンを成功させるためには、行政だけの取り組みでなく、実際に環境に配慮した商品・サービスを取り扱っている事業者等の皆様方のご参加・ご協力が不可欠であります。平成 24 年度も、事業者の皆様方にご協力頂きながら、さらにその輪を拡大させて参りたいと考えております。

つきましては、「平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』趣旨書」(添付資料 2)をご覧頂くとともに、本キャンペーンにご参加・ご協力頂ける場合には、「参加申込書」(添付資料 3)をご記入の上、以下の提出宛先にメールにて返信してください。

なお、本キャンペーンは、各都道府県独自の取組みを尊重しつつ、都道府県間で連携できるものは共同実施し全国的な統一感を保つていこうという基本方針のもとで展開していますので、参加都道府県から個別のご依頼がございましたら、可能な限りご協力頂きますよう、併せてお願い申し上げます。

また、本キャンペーンの実施主体は環境省、経済産業省、3R 活動推進フォーラムです。

※買い物キャンペーンの宣伝方法について本年は、まだ未定で9月上旬に受託業者が企画した内容になります。宣伝方法はポスターかどうかわかりません。

しかし、日程的に間に合わないので、申し訳ありませんが、今年度は去年のポスター(23→24年度)を使うか、独自のポスターに「こまめちゃん」を添付するなりして使用してください。

ただ、「こまめちゃん」自体のデザインは著作権に違反するので、編集、加工はしないでください。

※「こまめちゃん」デザインの電子データが必要な場合は下記までご連絡ください。

【提出先】

提出期限：平成 24 年 8 月 31 日 (金)

環境省廃棄物・リサイクル対策部

循環型社会推進室 霜田

T E L : 03-5521-8336(直通)

F A X : 03-3593-8262

E-M a i l : KOJI_SHIMODA@env. go. jp

平成 24 年度『環境にやさしい買い物キャンペーン』趣旨書

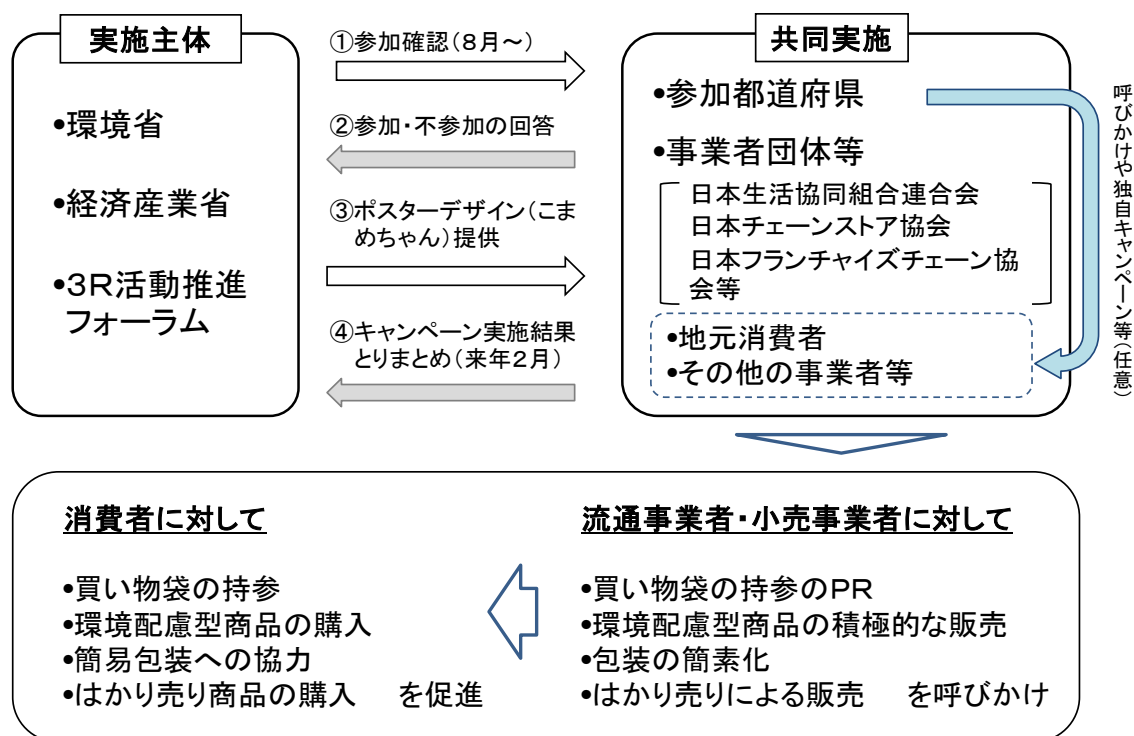
【目 的】

循環型社会形成推進基本法（平成 12 年法律第 110 号）に基づく第 2 次循環型社会形成推進基本計画（平成 20 年 3 月閣議決定。以下「循環基本計画」という。）において、「循環型社会の構築には国民一人一人に循環に配慮した持続可能なライフスタイルへの変革が重要」であり、それを実現するための国の取組として、地方公共団体等の各関係主体と連携を図りながら環境教育等を総合的に推進することとされております。

また、平成 24 年 3 月に閣議報告がなされた循環基本計画の進捗状況の第 4 回点検結果では、循環基本計画の取組指標に関する目標「循環型社会形成に向けた意識・行動の変化（※）」について、ごみ問題への意識については、「ごみ問題に関心がある」との回答率は 81.2%と高いレベルにあるものの、「使い捨て製品を買わない」、「リサイクル製品を積極的に購入している」といった具体的行動については低い回答率のものも見られ、国民の高い意識を実際の行動につなげるため、消費の実態をより一層把握した上での行動につながる情報発信も引き続き重要とされたところです。

これらを踏まえ、消費者、事業者（主として流通業）、行政、消費者団体、NPO等の連携による地域活動を推進し、国民に環境に配慮した消費行動を促すことにより、地域レベルでの循環型社会の形成を図るため、本年度も引き続き「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施することとします。

【実施体制】



【実施期間】

平成24年10月1日～平成24年10月31日

【事業者等の実施内容】

貴社のご判断により、以下の例にならい、それぞれの店舗においてご協力いただけるものを実践して頂きます。

(例)

●消費者に対し、「買い物袋の持参」、「環境配慮型商品の購入」、「簡易包装への協力」、「リターナブル容器、はかり売り商品の購入」等について、以下のような方法で呼びかけ

- ・貴社の広報媒体やチラシ(*)、店内放送、レジでの呼びかけ
- ・買い物袋持参者へのスタンプ押印や特典の実施 等

※ポスターデザイン・統一デザイン・バリエーションデザインを是非ご活用下さい(添付資料3参加申込書内2項参照)

●環境配慮型商品コーナーの設置や環境配慮型商品の特売等、環境配慮型商品の積極的な販売

●包装の簡素化

●はかり売り等による販売

●その他、本キャンペーンの目的にかなった各事業者独自の取組み

※具体的な行動例(添付資料4)もご参照下さい。

【本キャンペーン参加事業者の消費者への周知】

国や自治体の広報により、参加事業者名と、参加店舗数についてご紹介させていただきます。

【参 考】

○環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部の実施内容

①各都道府県の独自性を尊重しつつ、全国的な統一感を保つため、経済産業省、3R活動推進フォーラムと連携して、以下を実施します。

- ・全国組織等との連絡調整（流通事業者への協力要請等）
- ・キャンペーン実施に向けた参加都道府県との連絡調整（実施内容等の調査、とりまとめ等）
- ・PR活動（記者公表、HPへの掲載、政府広報を通じてのPR等（9月～10月））
- ・キャンペーンの実施結果のとりまとめ（平成25年2月頃）

②各都道府県におかれましては、本キャンペーンにご賛同いただき、国が呼びかけを行う事業者団体に所属していない地元事業者への呼びかけや、国の取組との整合性を保ちつつ独自のキャンペーンの実施など、取組の促進をいただきたく、お願い申し上げます。

③平成23年度の都道府県等の参加状況

参加都道府県：46都道府県が参加

参加流通事業者数：全国で68社、47,982店舗

送付先：《メール》KOJI_SHIMODA@env.go.jp 《FAX》03-3593-8262

1・2枚目をご記入の上、メール又は FAX く

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室 霜田 宛

TEL 03-5521-8336 ◆申込締切 平成24年8月31日(金)

平成24年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」

参加申込書

貴社名	
所在地	〒
担当者 連絡先	役職・お名前：
	TEL：
	FAX：
	E-mail：

本キャンペーンへの参加にあたり、下記についてお答えください。

店舗数について

貴社の各都道府県別の店舗数を下表にご記入ください。

(ホームページ等による広報において、参加事業社名と参加店舗数の紹介に使用します。)

県名	店舗数	県名	店舗数	県名	店舗数
北海道	店舗	富山	店舗	鳥取	店舗
青森	店舗	石川	店舗	島根	店舗
岩手	店舗	福井	店舗	岡山	店舗
宮城	店舗	山梨	店舗	広島	店舗
秋田	店舗	長野	店舗	山口	店舗
山形	店舗	岐阜	店舗	徳島	店舗
福島	店舗	静岡	店舗	香川	店舗
茨城	店舗	愛知	店舗	愛媛	店舗
栃木	店舗	三重	店舗	高知	店舗
群馬	店舗	滋賀	店舗	福岡	店舗
埼玉	店舗	京都	店舗	佐賀	店舗
千葉	店舗	大阪	店舗	長崎	店舗
東京	店舗	兵庫	店舗	熊本	店舗
神奈川	店舗	奈良	店舗	大分	店舗
新潟	店舗	和歌山	店舗	宮崎	店舗
				鹿児島	店舗
				沖縄	店舗
				全国計	店舗

H24年度も、47都道府県への呼びかけを実施しております。

企業名等 参加・賛同企業数(参加店舗数)

日本チェーンストア協会 21社(2,495店舗)

(株)イトーヨーカ堂	(株)ダイエー
イズミヤ(株)	(株)タイヨー
ユニー(株)	(株)とりせん
(株)イズミ	(株)フジ
(株)いなげや	(株)ベイシア
(株)エスコ	(株)平和堂
(株)カスミ	(株)マツヤ
(株)京王ストア	(株)ヨークマート
(株)京急ストア	(株)ライフコーポレーション
(株)京成ストア	イオン(株)
(株)阪食	

日本百貨店協会 30社(163店舗)

(株)小田急百貨店	(株)高崎高島屋
(株)一畑百貨店	(株)高島屋
(株)井上	(株)津松菱
(株)うすい百貨店	(株)東急百貨店
(株)岡山高島屋	(株)東武百貨店
(株)金沢名鉄丸越百貨店	(株)ながの東急百貨店
(株)川徳	(株)中合
(株)岐阜高島屋	(株)三越伊勢丹ホールディングス
(株)近鉄百貨店	(株)阪急百貨店
(株)京王百貨店	(株)藤崎
(株)佐賀玉屋	(株)プランタン銀座
(株)佐世保玉屋	(株)松山三越
(株)そごう・西武	(株)丸広百貨店
(株)大丸松坂屋百貨店	(株)山形屋
(株)大和	(株)米子高島屋

日本フランチャイズチェーン協会 12社(47,591店舗)

(株)ココストア	(株)セイコーマート
国分グローサースチェーン(株)	(株)セブンイレブンジャパン
ミニストップ(株)	(株)デイリーヤマザキ
(株)九九プラス	(株)ファミリーマート
(株)サークルKサンクス	(株)ポプラ
(株)スリーエフ	(株)ローソン

その他 1社(300店舗)

(株)良品計画

合計 64社(50,549店舗)

都道府県

「環境にやさしい買い物キャンペーン」

ご担当 各位

3 R 活動推進フォーラム
専任理事 八木美雄

平成 2 4 年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施報告書提出について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素、3 R 活動推進フォーラムに対しまして、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

この度は、環境省・経済産業省・3 R 活動推進フォーラム主催の「環境にやさしい買い物キャンペーン」にご参加いただき、ありがとうございます。キャンペーンの各都道府県実施報告書については、当フォーラムがまとめることとなっております。

つきましては、下記様式によりおまとめいただき、メールでお送りいただきたくお願い申し上げます。またキャンペーンの写真やチラシなどがございましたら画像データを添付するようお願い致します。

なお、当フォーラムホームページで昨年度の実施報告書をご覧いただけますので、ご参照ください。

(<http://3r-forum.jp/img/i4f7028bea7e6e.pdf>)

ご多忙の中、大変恐縮ではありますが、1 2 月 2 6 日（水）までに提出いただきますよう、協力方よろしくようお願い申し上げます。

記

■実施報告の項目

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 都道府県名 | 2. キャンペーン of 名称 |
| 3. 目的・趣旨 | 4. 実施主体 |
| 5. 実施期間 | 6. 協力団体 |
| 7. 主な活動内容 | 8. トピックス的な事例 |
| 9. その他 写真、チラシ、ポスターなどの画像と説明 | |
| 1 0. 報告書作成ご担当者の所属・氏名 | |

■様式 A 4 判縦用紙に横書きで作成（2 枚以内、画像等は別）

※別添掲載見本を参考にして下さい。

■提出期限 平成 2 4 年 1 2 月 2 6 日（水）

■送り先 E-mail:info@3r-forum.jp

(本件連絡先) 3 R 活動推進フォーラム事務局

事務局長 藤本正

調査部長 藤波博 事務局員 秋元由美

Tel.03-6908-7311 Fax03-5678-7164

流通事業者

「環境にやさしい買い物キャンペーン」

ご担当者様

3 R 活動推進フォーラム

専任理事 八木美雄

平成 2 4 年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」の
実施報告書提出について(お願い)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素、3 R 活動推進フォーラムに対しまして、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

この度は、環境省・経済産業省・3 R 活動推進フォーラム主催の「環境にやさしい買い物キャンペーン」にご参加いただき、ありがとうございました。キャンペーンの実施報告書については当フォーラムがまとめることとなっております。

つきましては、下記様式によりおまとめいただき、メールでお送りいただきたくお願い申し上げます。またキャンペーンの写真やチラシなどがございましたら画像データを添付するようお願い致します。

なお、当フォーラムホームページで昨年度の実施報告書をご覧いただけますので、ご参照ください。<http://3r-forum.jp/img/i4f7028bea7e6e.pdf>

ご多忙の中、大変恐縮ではありますが、1 2 月 2 6 日(水)までに提出いただきますよう、協力方よろしくお願い申し上げます。

記

■実施報告の項目

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 事業者名 | 2. キャンペーンの名称 |
| 3. 目的・趣旨 | 4. 実施期間 |
| 5. 参加店舗数 | 6. 主な活動内容 |
| 7. トピックス的な事例 | |
| 8. その他 写真、チラシ、ポスターなどの画像と説明 | |
| 9. 報告書作成ご担当者の所属・氏名 | |

■様式 A 4 判縦用紙に横書きで作成(1 枚以内、画像等は別)

■提出期限 平成 2 4 年 1 2 月 2 6 日(水)

■送り先 E-mail:info@3r-forum.jp

(本件連絡先) 3 R 活動推進フォーラム事務局

事務局長 藤本正

調査部長 藤波博 事務局員 秋元由美

TEL03-6908-7311 Fax03-5678-7164

キャンペーン用ポスターデータの作成について

3R活動推進フォーラムでは、環境省、経済産業省とともに、毎年10月の3R推進月間に、都道府県等自治体、流通事業者団体、消費者団体等と連携して、環境にやさしい消費者行動を呼び掛ける「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しています。

平成24年度環境にやさしい買い物キャンペーンについて

環境省、経済産業省、3R活動推進フォーラムでは、10月の3R推進月間に、都道府県、流通事業者等のご協力を得て、平成24年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施いたします。

新たにキャンペーン用ポスターデータを作成しましたので、ご利用ください。

ポスターの下の文字入力欄に団体名などをご記入できます。併せて「協力 環境省 経済産業省 3R活動推進フォーラム」と記載していただいても結構です。

データは下記からダウンロードしてご利用ください。

ポスターA



ポスターB



**平成 24 年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」
実施報告書**

平成 25 年 3 月

**環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室**

〒100-8914 東京都千代田区霞が関 1-2-2

TEL 03-5521-8336 FAX 03-3593-8262

3 R 活動推進フォーラム

～ごみゼロ・循環型社会めざして～

〒130-0006 東京都墨田区両国 3-25-5 J E I 両国ビル 8F

公益財団法人廃棄物・3 R 研究財団内

TEL 03-6908-7311 FAX 03-5638-7164